

上都賀地方の農業・農村

農業者の所得向上を第一に
“稼げる農業・農村”の実現を
目指して



令和6（2024）年4月
栃木県上都賀農業振興事務所

トピックス（上都賀地方のこの一年）

【いちご・にら産地振興プラン策定】

上都賀地域の主力品目であるいちご・にら産地のさらなる発展に向け、生産者、農協、行政機関が協議を重ね、令和4（2022）年度～令和5（2023）年度に実施した生産者アンケートを基に産地の将来像と推進方策をまとめたプラン「上都賀地域いちご戦略」「上都賀地域にら産地戦略」を策定しました。

今後は、本戦略を礎に、生産者の確保や収量向上に向け、生産者や関係機関・団体が一体となって取り組んでいきます。



技術担当者会議での協議



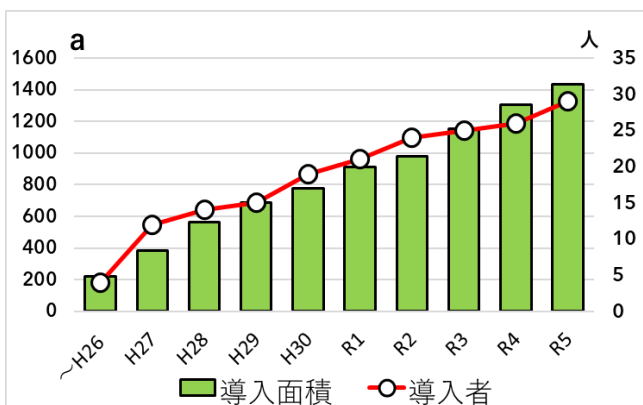
いちご・にら産地振興プラン

【にら中核経営体の育成】

省力化と増収効果を狙った「ウォーターカーテン」の導入拡大を推進しており、補助事業の活用等により導入面積は年々増加しています。

「ウォーターカーテン」の省力効果により規模拡大が図られ、そぐり機や雇用の導入、夏専用品種の拡大による周年安定生産の実現がさらなる規模拡大につながる好循環を生み、中核経営体は令和2（2020）年度の3戸から1億円超3戸を含む8戸に増加しました。

今後も、にらが「より儲かる品目」として認識され、中核経営体がさらに増加するよう取組を推進します。



ウォーターカーテンの導入状況



ハウス内の状況

【より強いさといも産地づくりに向けた取組】

上都賀農業振興事務所では、県内一のさといも産地の強化に向け、栽培と販売の両面を支援しています。

生産部会と連携し、3回の省力機械実演会等の開催や鹿沼と日光の共同選別開始に向けた品質向上対策を支援しました。この結果、鹿沼は面積が 1.5ha 拡大し、日光は単価が前年比 195%に向上しました。

単価向上は生産意欲の向上に繋がり、新規栽培者確保にも弾みがつくと期待されます。今後は、基盤整備計画地区等に推進し、産地拡大を図ります。



省力機械実演会（11月、鹿沼市）



鹿沼・日光合同目揃会

【鹿沼市で加工用馬鈴薯の生産が拡大中】

近年、国内産加工用馬鈴薯の需要が高まっており、特に東北・関東での作付けが拡大しています。加工用馬鈴薯は、買取条件が安定しており、作業が機械化されているため省力的です。さらに、栽培期間が短く管理が容易であることから、県内でも全農を中心に産地化を進めています。

上都賀管内では、令和5(2023)年度に「鹿沼地区加工用馬鈴薯出荷組合」が設立され、土地利用型園芸産地展開加速化事業を活用して鹿沼市の生産者5名が5.5haの作付けを開始しました。2作目となる令和6(2024)年産は11haの作付けが予定されており、令和7(2025)年産は日光市で新たに生産者の増加が見込まれているなど、今後作付けが拡大していく見込みです。引き続き、関係機関と連携しながら生産の拡大に取り組んでいきます。



種芋の植え付けの様子



収穫の様子

【5つの集落営農組織（営農集団）で広域連携協定締結】

鹿沼市南押原地区には5つの集落営農組織があり、高齢化に伴う担い手不足が問題となっていました。

そこで、「集落営農組織のあり方検討会」を開催し、各組織が抱える課題を共有し合意形成を図りました。令和6(2024)年3月には、オペレーターや機械等を融通するための広域連携協定を締結しました。

今後は、連携協定の実践に向けて組織活動を支援していきます。



第1回集落営農組織のあり方検討会



広域連携協定調印式

【法人化により新たな営農体制を構築】

平成4(1992)年に設立された上日向機械利用組合（鹿沼市）は、受託面積の拡大や構成農家の後継者の参画を契機に効率的で持続可能な体制を構築するため法人化を目指しました。

経営相談会や、税理士や司法書士等の専門家の派遣、経営指導により、令和6(2024)年1月にKKC アグリテック株式会社として法人登記し、新たな営農体制を構築しました。

今後も地域農業の担い手として活躍できるよう、さらなる経営発展を支援します。



農業経営相談会



法人役員

【選別機導入により大豆の生産を拡大】

日光地域では、共同で利用している大豆選別機の処理能力が作付面積の拡大の妨げになっていました。

今回、JA かみつが日光大豆部会では、新たに選別機を導入し生産環境が整ったことから、実需からの出荷要望に応え、大豆の生産拡大を進めています。

今後は、地元の食品事業者など実需者と連携しながら日光産大豆のブランド化を図り、地域の特産物として育成していきます。



導入された大豆選別機

【子実用トウモロコシの安定生産技術支援】

水田転換作物の麦・大豆に加え、自給飼料や難防除雑草対策としても注目されている子実用トウモロコシの作付けが始まっています。そこで、農研機構や畜産酪農研究センターと連携し、安定生産技術の確立に向けた支援を行っています。

水田の有効活用として麦との二毛作体系が期待されますが、麦跡での栽培事例が少ないことから、収益性の確保に向け、晩播に適した品種を比較選定するとともに、難防除雑草に有効な除草剤についても検討するなど、現地実証試験を行ってきました。

その結果、麦跡でも収量が確保できる品種や除草効果が明らかになりました。今後も現地実証試験を継続し、さらなる安定生産技術の確立を目指します。



ドローンによる害虫防除



子実用トウモロコシの収穫風景

【「きぬはなもち」の生産拡大】

JA かみつが日光地区では、地元の製菓業者と連携した加工用米「きぬはなもち」の生産拡大に取り組んでいます。

地元産の米と水、匠の技による高品質な商品づくりを目指し、生産者、実需者を交えた現地検討会、意見交換会を開催しました。

実需者からは、取扱量を拡大したい意向が示され、令和6(2024)年産は生産者、面積ともに増加する予定です。



「きぬはなもち」現地検討会



実需者を交えた意見交換会

【鹿沼南高生による酒米プロジェクト】

鹿沼南高校では、2年生の作物コースの生徒を対象に酒米プロジェクトをスタートしました。

令和5(2023)年度は、千渡地区で有機酒米を栽培する田島氏の圃場で収穫体験を行い、小林酒店の小林氏から酒造りについて講義を受けました。

令和6(2024)年度は、同校農場において酒米を生産し、生産された酒米を使用して地元の酒蔵と連携して酒造りを行う計画です。



有機酒米収穫体験



酒造りに関する講義

【ドローンを活用し低コスト生産】

日光市内では現在 58 機の農業用ドローンが導入され、防除作業や追肥作業で活躍しています。

夏期の防除作業が軽労化されるとともに、適期防除が可能となり品質の向上につながっています。

令和5(2023)年秋に RTK 基地局が設置され、令和6(2024)年4月から本格運用されます。誤差数センチ単位での作業が可能になることから、労働時間の短縮や燃料・肥料などの資材低減効果による一層の低コスト化が期待されます。



防除中のドローン



RTK 基地局

【SGS・WCS等自給飼料生産拡大】

飼料価格の高騰に対応し自給飼料の生産拡大を図るため、SGS・稲WCS生産組織の取組面積拡大に向けた耕畜連携を支援しました。

飼料生産組織の機械導入等を支援するとともに、新たに委嘱した耕畜連携コーディネーターの協力のもと、生産農家と利用希望農家のマッチングを行い、取組面積拡大につなげました。

新型機種の導入により製品の品質が向上したほか、2台体制により収穫作業が効率化しました。



WCSの収穫作業風景



SGS 製造プラントの様子

【薄井沢地区で待望の圃場整備工事スタート】

薄井沢地区（日光市）は、令和2（2020）年度に県営農地整備事業として事業採択され、令和5（2023）年度から圃場整備工事に着手しました。

事業区域を決める地区界確定業務や換地計画原案の承認を得て、令和5（2023）年度は30haの面整備を実施しました。

目標年次（10年後）までに担い手による農地集積率80%の達成に向け支援するとともに、スマート農業技術の導入や水田を活用した露地野菜などの園芸作物の生産拡大を推進していきます。



圃場整備工事前



圃場整備施工中

【田川流域地区と山口地区で農地整備が完了】

日光市土地改良区の区域において平成24（2012）年度に着手した田川流域地区と平成28（2016）年度に着手した山口地区の県営農地整備事業が完了しました。

両地区とも令和5（2023）年度に権利者会議を開催し換地計画が承認され、整備された新しい圃場が関係権利者へと引き渡されました。

基盤整備の完了に伴い、農地の集積・集約化による規模拡大が図られた農地でスマート農業技術の普及、高収益作物の導入等を支援することで、地域の持続的な発展が期待されます。



田川流域地区権利者会議



山口地区権利者会議

【改良区に田んぼダムを推進】

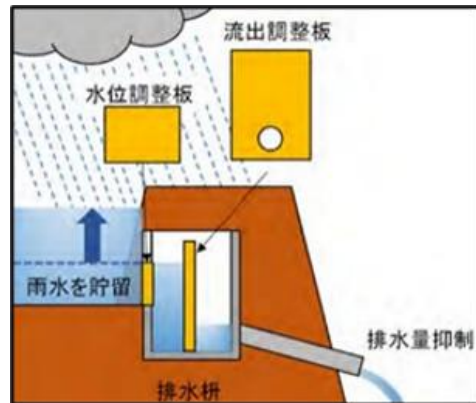
栃木県では、河川の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、土地改良区等に対し田んぼダムの取組を推進しています。

令和5(2023)年度は、7月21日に鹿沼市土地改良区、12月6日に日光市土地改良区の理事を対象に田んぼダムの取組について理解促進を図りました。

近年増加しているゲリラ豪雨対策にも有効とされる田んぼダムの取組拡大を引き続き進めていきます。



鹿沼市土地改良区の様子



田んぼダムのイメージ

【みどり認定スタート～鹿沼市のいちご生産者が県内第一号認定～】

令和5年度からみどりの食料システム戦略に基づき「とちぎグリーン農業推進方針」が策定され、みどり認定がスタートしました。みどり認定は、環境負荷低減に取り組む事業者から提出された計画を、県が認定する制度で、管内では認定農業者に対して、農業経営情報誌の記事掲載やPR資料の作成・配布、エコファーマーへの通知等により周知しました。

その結果、鹿沼市のいちご農家が、県内初のみどり認定を受けて、その後も個人申請があり、3戸の農家がみどり認定を受けました。また、JA、生産組織と連携しグループ申請を推進しており、年度内に日光地区の4生産組織に対して説明会を実施したほか、1生産組織についても申請に向けた動きが出始めています。

今後もより多くの農業者が認定を受けるよう推進するとともに、みどり認定を受けた農業者への支援を行います。



県内第1号江俣農業士への認定書交付



管内初グループ認定組織への認定書交付
(JAかみつが日光にら専門部会)

【いちご・にら新規就農研修等の支援により新規参入者の就農定着を促進】

いちご・にらの研修制度がある鹿沼市、日光市において、就農支援協議会による年間4回の作業体験、先輩農業者との意見交換等の実施を支援しました。

令和5(2023)年度は、研修を終了した非農家2名が独立自営のいちご経営を開始したほか、いちご6名・にら1名の研修生が就農に向けて準備中です。

引き続き関係機関と連携し、研修制度や体験会、就農実績の周知を図るなど、新規就農者の確保育成に向けた普及活動を展開します。



完成したパイプハウス



研修生と派遣先スタッフ

【SNSを活用した「かみつが農業女子」の活動支援】

「かみつが農業女子」は、女性農業者がより一層活躍し、経営に参画できる環境整備を進めるため、鹿沼市の農業女子6名で結成されました。

「男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」を契機とした交流会を日光市で開催したことにより、日光市の農業女子が加わり17名に増加しました。

SNSを活用した情報交換や交流会を通じて、つながりを強固なものとし、さらなるメンバーの拡充を図るなど、引き続き女性の経営参画を支援していきます。



かみつが農業女子



日光市での交流会

【魅力あるUターン就農事例を紹介するパンフレットを小学生の保護者へ配布】

他産業で働く農家後継者へ稼げる農業の情報を発信し、Uターン就農意欲の啓発を図るため、事例集を作成しました。

令和5(2023)年度は、鹿沼市、日光市内の小学1～3年生の保護者等を対象に4,400部を配布しました。

今後ともオーダーメイドによる就農定着支援を実施することで、上都賀地域の農業を次世代につないでいく普及活動を展開します。



Uターン就農事例集

【いちごで農福連携の理解促進】

上都賀地域では、いちご生産現場での農福連携の取組拡大を目指し、令和3年度より「農×福×莓プロジェクト」に取り組んでいます。

ベリーズファン（鹿沼市）において実践農場見学会を開催し、福祉施設通所者によるいちごの葉かき作業の見学や意見交換を行いました。

参加者からは、「色々な作業を任せられることに驚いた」や「自分のところで活かせるヒントを得られた」などの声があり、今後の農福連携の広がりが期待されます。



葉かき作業の見学



葉かき作業後のいちご

【鹿沼市加蘇地区で様々な交流イベントが開催され地域活性化に寄与】

鹿沼市の中山間地域で活動する加蘇地区ふるさとづくり協議会は、若者や都市住民との交流による地域活性化に取り組んでいます。

地元農業高校生が農業体験を通してグリーンツーリズムの取組を学ぶ交流会や、都市部の若者が草刈りや竹の伐採を体験し、切り出した竹を灯りとして活用するイベントを行いました。

今後も、地域の活動拠点である「カソトモの森パーク」を活用し、都市農村交流活動を展開していきます。



さつまいもの収穫



竹の伐採体験

【中山間地域の交流拠点「花農場あわの」のリニューアルを進めています】

鹿沼市栗野地区にある「花農場あわの」は、季節の花や木で彩られた庭園を有し、自家栽培のハーブを使った料理を提供する農村レストランとして、県内外から多くの人々が訪れています。

開業から20数年が経過し、さらなる誘客促進を図るため、花農場のシンボルであるバラのアーチやブルーベリー園の管理、レストラン運営等の見直しを行いました。

今後も、魅力的な庭園の維持と四季を通じた情報発信等により、地域の活性化に取り組んでいきます。



農場内花木の剪定研修



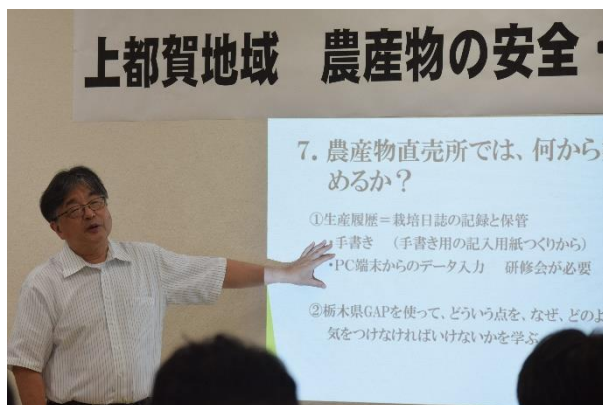
全国農林水産物直売サミット出店

【安全安心研修会を開催し直売所GAPの導入を推進】

農業における「農産物の安全」「環境の保全」「作業者の安全」を確保し、経営体の経営改善を図ることを目的に、GAPの取組を推進しています。

直売所におけるGAPの導入を図るため、直売所運営組織を対象に、(株)産直新聞社代表取締役毛賀澤明宏氏を講師に迎え、研修会を開催しました。

今後も、生産から販売に関わる者が連携して安全安心な農産物を消費者へ提供できるよう、GAPの必要性や有効性について理解促進を図っていきます。



直売所へのGAP研修会

【SNSによる情報発信の強化】

農業農村の魅力を広く伝えるため、令和5（2023）年度は上都賀地域に注目が集まるG7日光会合や紅葉シーズンに合わせて、農政部公式SNSへの投稿を強化しました。

情報発信強化期間中は、閲覧数や投稿への反応の増加が見られ、認知の向上が図られました。

今後も季節やイベントに合わせたSNS情報発信をとおして、さらなる認知度向上に努めていきます。



G7に関連する投稿



紅葉シーズンの投稿

目 次

トピックス

I 上都賀地方の概要	1
1 位置及び地勢	1
2 気象	1
3 農業・農村基本データ	1
II 上都賀地域農業振興計画（地域戦略）実績	
1 戦略1：上都賀地域の強みを伸ばす「施設園芸経営体の所得向上」	2
2 戦略2：地域連携と超省力化による「収益性の高い上都賀型水田農業の確立」	4
3 戦略3：持続可能な上都賀地域の農業・農村の形成	6
III 普及活動年度実績	
1 高収量・高品質による野菜経営の向上	8
2 新品種・新技術の導入推進によるいちご・花き経営の向上	9
3 優良品種・優良技術の普及、担い手の育成による稼げるなし産地の強化	10
4 収益性の高い土地利用型経営体の育成	11
5 畜産生産基盤の強化と経営継続支援	12
6 次世代の地域農業をけん引する人材の確保・育成	13
7 多様な担い手の確保と稼げる経営体の育成	14
8 GAP及び鳥獣被害軽減対策の推進	15
IV 各種コンクール等受賞者一覧	16
V 上都賀地方の農業・農村の動き	
1 農地等の状況	
(1) 耕地等面積	17
(2) 農業振興地域	17
(3) 農地の動き	17
(4) ほ場整備の実施状況	19
(5) 農業集落排水事業の実施地区一覧	19
(6) 農道、集落道の整備状況	19
2 農家等の状況	
(1) 農家	20
(2) 栃木県農業士等の認定状況	21
(3) 新規就農者	22
(4) 集落営農組織数	22
(5) 農業経営改善計画の認定状況	22
(6) 家族経営協定の締結状況	23
(7) GAP認証等の取得状況	23
(8) みどり認定の取得状況	24
(9) 農業者組織の状況	25

3	農業生産等の状況	
(1)	水稲	26
(2)	麦	26
(3)	大豆	27
(4)	そば	27
(5)	畜産	28
(6)	放牧場の概要	28
(7)	水産（漁船の登録状況）	28
4	農産物等認証状況	
(1)	とちぎの地産地消推進店認定及び登録状況	29
(2)	栃木県特別表示認証食品認証状況（Eマーク）	32
5	田園風景百選認定状況	33
6	6次産業化総合計画認定状況	34
7	農業制度資金融資（貸付）状況	34
8	農漁業災害及び農地・農業用施設災害の発生状況	
(1)	農産物、生産施設等	35
(2)	農地、農業用施設等	35
9	放射性物質検査結果	
(1)	モニタリング検査結果	36
(2)	農業振興事務所が行う検査	36
10	米の需給調整状況	37
11	農業団体、農業公社等の概要	
(1)	上都賀農業協同組合	37
(2)	市町農業公社	37
(3)	公設地方卸売市場	38
12	ライスセンター・カントリーエレベーター等設置状況	
(1)	米麦用	39
(2)	豆類・雑穀用	39
(3)	飼料用米	39
13	農産物直売所、農村レストラン等設置状況	
(1)	農産物直売所	40
(2)	農村レストラン	41
(3)	加工体験施設	41
(4)	市民農園	41
14	各種地域指定等一覧	
(1)	地域指定	42
(2)	野菜指定産地	42
15	補助事業等実施状況	
(1)	補助事業（非公共）	43
(2)	基盤整備事業	46
(3)	多面的機能支払交付金実施状況	48
(4)	中山間地域等直接支払制度実施状況	50
16	上都賀地域土地改良区統合整備状況	51
17	関係機関・団体一覧	52

I 上都賀地方の概要

1 位置及び地勢

上都賀地方は県の北西部に位置し、鹿沼市、日光市の2市からなり、北は福島県、西は群馬県に接しています。

当地方の総面積は1,940km²で、県全体の約3割を占めます。日光国立公園や前日光県立自然公園など、貴重で美しい自然が残されているほか、数多くの景勝地や温泉地などで知られる日光・鬼怒川など、観光資源にも恵まれています。湖沼は、中禅寺湖、五十里湖、川俣湖などがあり、河川は、北西部を源とする鬼怒川、思川、黒川などがあります。

2 気 象

気象は、東日本の内陸型の特徴を有し、夏は高温で雷の発生が多く、冬は低温で晴天が多い地域です。鹿沼市（観測地点）における1994年から2023年までの平均値は、年間平均気温13.3℃、年間降水量1,654mm、年間日照時間1,905時間となっています。

3 農業・農村基本データ

	鹿沼市	日光市	上都賀地区	県構成比	備考
総人口(人)	91,270	73,386	164,656	8.7	栃木県毎月人口推計月報 (令和6(2024)年3月1日現在)
総世帯数(戸)	36,766	32,101	68,867	8.4	
総農家戸数(戸)	2,782	1,923	4,705	10.2	2020年農林業センサス
販売農家数(戸)	1,843	1,362	3,205	10.0	
うち1千万円以上(%)	15.1	8.4	12.2	9.4	
うち5ha以上(%)	5.9	11.1	8.1	6.4	
耕地面積(ha)	5,410	5,290	10,700	8.9	令和5(2023)年 作物統計調査(耕地面積)
うち田	3,940	4,060	8,000	8.5	
うち畑	1,480	1,230	2,710	10.1	
1経営体当たりの 経営耕地面積(ha)	2.12	2.97	2.54	2.93 [*]	2020年農林業センサス
水田整備率(%)	67.2	36.4	52.3	69.4 [*]	令和6(2024)年3月末現在
認定農業者数(経営体)	442	274	716	9.4	令和5(2023)年3月末現在
担い手への農地集積率 (%)	48.1	43.9	46.0	53.1 [*]	令和5(2023)年3月末現在

※県平均

II 上都賀地域農業振興計画(地域戦略)実績

地域戦略1: 上都賀地域の強みを伸ばす「施設園芸経営体の所得向上」

1 地域戦略の概要

上都賀地域の施設園芸は、品質面を中心に産地のブランド化が進んでおり、新規就農者に占める割合も高いなど、更なる発展が期待できます。そこで、所得向上に意欲ある経営体(いちご、にら、トマト、花き)を明確化し、所得目標を達成するための課題を個別に洗い出し、改善に向けた取組(基本技術の再点検、新品種・新技術の導入、省力化・分業化の検討・推進、ICTを活用した「栽培管理の見える化・共有化」、雇用労働の導入等)を総合的にマネジメント(重点的な個別指導、集団指導等)します。

2 主な指標

注) 上段は目標値(括弧内は当初目標値)、下段は実績値

指標項目		現状 (R1実績)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (目標)
いちご・にらの収量向上率 ※1	いちご	100	102 115	104 115	106 121	108	110
	にら	100	(102) 110 123	(104) 111 118	(106) 112 107	(108) 113	(110) 115
中核経営体数 ※2		19	19	24 28	(26) 34 36	(28) 34	(30) 35
新品種・新技術導入経営体数		153	180 173	200 225	(220) 307 314	(220) 325	(240) 345

※1 重点指導対象者の単位当たり収量(t/10a)、いちごは年産、にらはJA出荷分のみ。

※2 上都賀地域主要園芸品目(いちご・にら・トマト・花き)における販売額3,000万円以上の経営体

3 令和5(2023)年度取組計画と主な取組状況及び今後の対応

(1) 所得向上に意欲ある経営体の明確化と課題の洗い出し、取組計画の策定

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
ア 所得向上に向けた取組計画の策定 ・経営体ごとの、改善に向けた取組計画の策定 ・経営体ごとの、所得向上を図るための取組事項の整理	◇中核経営体数 28→36 戸 いちご 12→15 戸、トマト 3→5 戸 にら 6→8 戸、花き 7→8 戸 (いちごトマト R4.10~R5.6、にら花き R5.1~12) ◆とちあいかの栽培安定、にらの規模拡大が寄与したがトマトは単価に左右される状況 ◎中核経営体候補者への技術支援を継続

(2) 目標達成に向けたマネジメント

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
ア 基本技術の再点検 ・いちご: とちあいかの栽培技術向上 ・にら: 栽培技術高度化による多収安定生産 ・トマト: 栽培管理、多収安定生産の確立	◇とちあいかの栽培管理徹底を指導し、いちご収量向上率は121%(R1比) ◆気象要因と夏専用品種の増加によりにら単収向上率は107%(R1比)と未達成 ◎とちあいか普及促進と栽培技術の更なる向上、にら新作型の技術確立 ◎トマト・花きの燃油資材高騰対策推進

<p>イ 新品種・新技術の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちご：とちあいかの作付け推進 ・にら：栽培技術高度化による多収安定生産 ・花き：あじさい県育成八重咲品種の生産技術の確立、高温対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇新技術の導入 209→248 戸 とちあいか 61→98 戸、 にらウォーターカーテン 26→29 戸など ◇にら県単補助事業の活用による高度化 (2 団体、県費計 9,626 千円) ◇八重咲あじさい 21,100→22,000 鉢 ◎とちあいか新規者、にらウォーターカーテン新規導入者への技術支援
<p>ウ ICT 等先端技術を活用した栽培管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちご：先進技術の導入によるハウス内環境の見える化推進 ・にら：栽培技術高度化による多収安定生産 ・トマト：高度環境制御によるトマト栽培の推進（スーパーコーチの活用等） ・花き：施設花き環境制御技術の確立と普及 	<ul style="list-style-type: none"> ◇いちご青年部ファーム活用推進 ◇にらファーム導入推進 日光市气象台ファーム導入(5月) ◇ICT 導入経営体数 57→66 戸 いちご 30→34 戸、にら 7→12 戸 ◆資材費高騰により新たな設備投資が困難 ◎いちご ICT 機器活用事例の提示と優良生産者の管理データ共有 ◎トマト環境制御技術の高度化支援
<p>エ 省力化・分業化の検討・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちご：無病苗供給体制の再構築と生産性向上 ・にら：栽培の省力化・分業化の検討 ・トマト：雇用を活用した大規模トマト経営体の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ◇いちご苗生産への支援(4~8月)、多品種構成である中で無病苗充足率は100% ◇にら補助事業活用による施設導入促進 そぐり機導入 21→22 台 ◎いちごフリー基地でとちあいかを含めた複数品種体制での採苗管理技術の向上支援 ◎トマトの広域選果場に適した品種の栽培技術向上支援
<p>オ 雇用労働導入の検討・雇用管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちご：先進技術導入や雇用活用等の活用による中核経営体の育成 ・トマト：雇用を活用した大規模トマト経営体の確立 ・花き：雇用管理の適正化による施設花き中核経営体の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◇経営相談会参加経営体数：いちご 1 戸 ◇トマト全農広域選果場利用意向調査 35 戸(予定) ◎各品目ともに、土業と連携した経営改善支援を継続 ◎トマト全農広域選果場利用時の経営シミュレーション支援

(3) いちご・にらの産地発展に向けた取組強化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<p>ア 生産者アンケート (R4 実施) に基づく鹿沼版いちご・にら産地振興プラン(仮称)策定の必要性共有 (鹿沼市、JA かみつが、生産部会(いちご部、にら部) 役員との合意形成)、鹿沼版いちご・にら産地振興プラン(仮称)の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇日光にら、生産者アンケート 1 回、WG 1 回 ◇鹿沼市、日光市、JA かみつがとの合意形成 (5 月) ◇にら部役員会で振興プラン説明(9・2 月) ◇「上都賀地域いちご・にら産地戦略」の策定 (3 月)



青年部現地検討会 (とちあいか親株管理)
(R5.6.6 鹿沼市)



にら新作型検討会
(R6.1.29 鹿沼市)

地域戦略2: 地域連携と超省力化による「収益性の高い上都賀型水田農業の確立」

1 地域戦略の概要

地域の話し合いや担い手のネットワーク化、次世代に向けた集落営農組織の再編等を進め、作業効率に配慮した基盤整備、省力化・低コスト化につながるスマート農業技術の普及拡大等を推進することにより、担い手の経営拡大の促進や高収益作物の導入等による経営の複合化を図ります。

2 主な指標

注) 上段は目標値 (括弧内は当初目標値)、下段は実績値

指標項目	現状 (R1実績)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (目標)
経営面積 15ha 以上の担い手の 総面積シェア* (%)	19.8	22 23.1	24 25.1	26 未公表	28	30
集落営農組織等の連携・再編数	—	— 0	1 0	2 2	2	3
次世代型生産基盤技術計画地区数 (地区)	—	1 1	1 1	2 2	2	3
スマート農業技術導入経営体数 (経営体)	22	37 70	(41) 73 80	(44) 77 100	(47) 81	(50) 85

※ 水田総面積に占める割合



南押原地区 5 組織あり方検討会 (3 回)



さといも収穫・調製実演会 (11 月 19 日)

3 令和 5 (2023) 年度を取組計画と主な取組状況及び今後の対応

(1) 地域水田農業のあり方検討促進

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
○戦略的水田活用の検討 ・さといも定植実演会、湛水栽培見学会、収穫調製機実演会 ・実需と連携した加工用米、米粉用米の普及拡大 ・乾燥調整施設の再編整備検討会の開催 ・大豆選別機導入支援	◇荊沢地区で次年度さといもの試作に取り組む ◇振興協議会予算により種芋導入を支援 (3 月予定) ◇「きぬはなもち」の作付面積が拡大 ◎乾燥調整施設整備に向けた計画づくり支援 ◆大豆選別機が導入されたが、高温の影響により収量・品質はやや低下 ◎大豆の作付面積拡大に向けた推進を実施

(2) 地域の実情に対応した広域営農システムの推進

ア 人・農地プランの実行支援

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○人・農地プラン実行に向けた重点支援地区の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・所内での重点支援地区の検討 ・モデル地区での地域計画策定に向けた話し合いの先行実施 ○地域における農地利用等の合意形成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体担当者との打合せ ・農業委員・最適化推進委員等対象のファシリテーター研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇南押原地区で集落営農組織の連携協定を締結（3月） ◎具体的連携に向けフォローアップ支援 ◇各地で地域の話し合い開始(1/23～) ◎各地域における話し合いの支援を関係機関が一体となり支援

イ 担い手のネットワーク化による農地集約化の推進

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○既存組織等を利用した集落を越えた担い手情報交換の場の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関団体によるネットワーク化推進打合せ ・「米米くらぶ」の活動支援 ・塩野室地区の農業の未来を語る会の開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◇法人化に係る研修会を実施し、将来の経営のあり方への関心が高まった。 ◎農地の集積・集約化に向けた意見交換により、構成員の意向が把握された。 引き続き「米米くらぶ」への支援を継続

ウ 次世代に向けた集落営農組織の連携・再編・広域化等の推進

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○組織を越えた広域によるネットワーク化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・南押原地区：農業を考える会の支援 ・上日向地区：機械利用組合の法人化支援 ・千渡地区：組織化に向けた話し合い支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◇南押原地区で集落営農組織の連携協定締結（再掲） 上日向地区でKKCアグリテック(株)設立（3月） ◎フォローアップと併せ地域計画策定を支援 ◇地元酒店と連携した有機酒米の栽培が拡大

エ 担い手の作業効率の配慮した計画的な基盤整備

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○次世代型生産基盤技術等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域における話し合いの推進 ・アンケートによる意向調査 ・次世代型生産基盤技術の必要性の啓発 ○施設の維持・長寿命化支援と防災力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・実施施設のリストアップ、保全管理研修会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇営農検討部会において動画による説明 ◇現地視察による導入意識が高まった。 ◎導入可能な技術を紹介・検討していく。 ◇保全計画の策定と保全管理研修会を実施 ◎施設管理者が適切に管理していくよう支援・指導を継続

オ 効率的な畦畔管理体制の研究・推進

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な畦畔管理体制事例の研究 <ul style="list-style-type: none"> ・畦畔管理技術・体制の調査研究 ○水田の新たな管理方法の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域計画策定の話し合いでの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◇副業制度を活用した草刈受託の課題を整理 ◎本格化する地域計画の話し合いでの検討継続

カ スマート農業技術の効果的な活用

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○導入効果検証 <ul style="list-style-type: none"> ・圃場管理システムの使用実態調査、課題の抽出 ○導入推進 <ul style="list-style-type: none"> ・担い手や関係機関と連携したドローンの有効活用についての検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◇鹿沼・西方地区でドローン協議会が設立 ◇日光地区でRTK基地局が設置された。 ◎作業精度向上など基地局活用の支援 ◎ドローンを活用した防除体制強化を検討

キ 高収益作物導入による経営の複合化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○土地利用型経営体への露地野菜の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・さといもを主体に、サツマイモ、ジャガイモなど拡大可能な品目を推進 ・湛水栽培見学会への参加推進 湛水さといも栽培技術の確立(機械化一貫体型) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇荊沢地区で次年度試作に取り組む（再掲） ◎サツマイモ、ジャガイモを含め作付拡大に向けた推進を継続

地域戦略3: 持続可能な上都賀地域の農業・農村の形成

1 地域戦略の概要

上都賀地域の魅力ある農業・農村を次世代につないでいくため、新たな農業人材を呼び込むための取組や、産地と連携した参入者向け研修制度の充実、就農定着サポート体制の強化により、次世代の産地を牽引する人材を確保・育成します。

また、地域活性化を図れる人材の育成、地域の観光・商工・林業などの多様な人材との連携、農村資源の発掘や磨き上げ、地域の特性を生かした特産作物の振興、交流人口や関係人口の拡大など、農村所得拡大に向けた基盤づくりに取り組みます。

2 主な指標

注) 上段は目標値、下段は実績値

指標項目	現状 (R1 実績)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (目標)
新規就農者数	126 人 /5 年間	28 人/年 26 人/年	28 人/年 26 人/年	28 人/年 31 人/年	28 人/年	28 人/年
地農産物直売所や農村レストラン等の年間販売額	1,940 百万円	1,946 百万円 1,812 百万円	1,952 百万円 1,877 百万円	1,958 百万円 1,936 百万円	1,964 百万円	1,970 百万円

※新規就農者 = 自営就農者 + 将来独立を目指す雇用就農者
 ※新規就農者目標 28 人/年 = 認定農業者数 731 戸(R2.3) / 世代交代年数 26 年
 ※世代交代年数 26 年(定年延長後の年齢 65 歳 - 直近 5 年の自営就農者の平均年齢 39 歳)

3 令和 5 (2023) 年度を取組計画と主な取組状況及び今後の対応

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
(1) 生徒への農業・農村の魅力発信 ・中学生・高校生を対象とした農業魅力発信講座を開催します。	◇鹿沼南高と魅力発信講座開催に向けて協議事務局会議(5月、12月)、総会(6月) 上農林専門部での鹿沼南高との連携(18回) ◎鹿沼南高校と引き続き連携を図る
(2) 他産業で働く農家後継者を呼び込む活動の展開 ・就農啓発資料を作成し、子育て世代を対象に資料を配付します。 ・農家後継者向け就農相談を開催するなど、「呼び込む活動」を展開します。	◇就農啓発資料の作成・配布(9月 4,400部) Uターン就農相談(12人、延べ30回) ◆就農啓発資料が就農相談に繋がっていない ◎引き続きPRに務めるとともに、相談結果を踏まえたほ場視察等を実施
(3) 園芸産地と連携した就農研修制度の充実・強化 ・研修生の受入人数の確保のため、研修制度の認知向上を図ります。 ・農業体験会から研修参加へ確実な誘導を図ります。 ・就農支援ネットワーク会議等を開催し、いちご、にら以外の研修制度の整備を検討します。	◇HP や市・JA 広報誌への掲載に加え県公社と連携し研修制度を周知 ◇農業体験会の開催 鹿沼市 いちご 9月23日、11月26日 にら 10月15日 日光市いちご・にら 11月25日 ◇就農支援ネットワーク会議 (6月22日、12月26日) ◆体験会参加者確保に向けて引き続き支援 ◎市・JA等と連携し研修生を確保
(4) 円滑な就農定着に向けたサポートの強化 ・令和3年度に作成したリスク管理表を活用し、就農定着に向けた個別支援を実施します。 ・フレッシュファーマーアカデミーの開催により、農業の基本技術の向上を図ります。	◇継続して個別重点支援及び支援結果に基づくリスク評価を実施(19人) ◆9名が継続支援必要 ◎新規対象者を追加しリスク評価と総合サポートを実施

<ul style="list-style-type: none"> ・就農者に合わせたオーダーメイド型就農支援により、関係機関・団体と連携した総合サポートを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇フレッシュファーマーアカデミー受講者（13名） ◆ニーズを踏まえた研修の実施が必要 ◎引き続き就農希望者に事業を周知し支援
<p>(5) 地域の特性を生かした作物振興と拠点施設を核とした地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そばの2期作に対応した新品種の導入に向け、生産者や実需者による品種特性の把握・評価を行うとともに、種子生産や供給体制整備に向けた検討を行います。 ・生産者や実需者等が連携した上都賀地方の農産物PRイベントを開催します。 ・SNSや動画等を活用した上都賀地方の農産物や農村の魅力を発信します。 ・農産物直売所の運営強化や農村レストランなどの拠点施設における誘客促進を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇そば新品種導入適応性試験の実施（鹿沼市、日光市）及び種子生産ほ場設置（1地区） ◎新品種導入に向け、関係者による種子生産に関するルールづくりや供給体制構築に向けた検討 ◇寒晒しそばフェア&スタンプラリー（4～6月）やさともメニューフェア（11～1月）によるPR（実績：6店舗増、応募数：前年比約4倍） ◎地域農産物の魅力や認知度向上につながるPRの実施 ◇G7に合わせSNS等での情報発信（県HP55件、農政部ツイッター79件）や動画等による主要農産物のPR ◎SNS等を活用した年間を通じた情報発信 ◇直売所における課題の見える化（6月）と直売所運営者との課題の共有化（10月、2月） ◎拠点施設の実情にあわせ継続した運営支援と新たな交流拠点施設の開業を契機とした周辺施設への誘客促進
<p>(6) 地域活性化の人材確保、交流・関係人口拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農泊等を実践する農業者や地域組織の体験プログラムのPR、他産業（観光事業者等）とのマッチングを支援します。 ・農ある暮らしに関心のある若者や女性が活躍できるモデル的な取組を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇体験素材集やSNS等を活用した季節ごとの体験プログラムのPR（インスタグラム61件） ◆点在する地域資源への周遊が少ないため滞在時間が短く、地域におけるインバウンド受入体制が十分ではない。 ◎国内外から訪れる人の周遊や長時間滞在につながるよう地域の魅力を総合的に発信 ◇地域活性化組織と地元高校生や都市部若者との交流活動支援（6月、10月）女性活動組織が運営する拠点施設の再整備による活性化支援（5～2月） ◆地域の人材が不足しており、積極的に交流・関係人口を呼び込む体制が十分ではない。 ◎地域活性化組織の活動支援や「農ある暮らし」への興味・関心を高めるきっかけづくり



いちご栽培体験研修（鹿沼市）



農場の栽培管理研修会（花農場あわの）

Ⅲ 普及活動年度実績

1 高収量・高品質による野菜経営の向上

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：JA かみつが各野菜生産組織、管内野菜生産者、
野菜栽培志向農家、JA かみつが等



にら新作型の実証ほ場の状況

(1) 普及活動の経過

- ① にら産地の維持発展に向けた検討
 - ・日光にら専門部会を対象に産地アンケートを実施した。鹿沼にら部は、昨年実施済みのアンケート結果を踏まえ、検討委員会を開催した。
- ② にら栽培技術高度化による多収安定生産と、にら栽培の省力化・分業化の検討
 - ・現地検討会や目揃会での技術指導、集荷場掲示板を利用した栽培管理資料の掲示、JA と連携した個別巡回により、栽培管理技術の向上と、新品種・新技術・省力機械の導入推進を図った。
- ③ トマトの栽培管理、多収安定生産の確立と高度環境制御によるトマト栽培の推進
 - ・重要病害虫（青枯病や黄化葉巻病等）の防除対策指導や、ICT 機器を用いて測定したハウス内環境データを活用した栽培管理指導を行った。また、JA 全農とちぎ青果物広域集出荷センターへの出荷について生産者等と情報交換を行った。
- ④ 地域の特徴ある特産品目の安定生産（アスパラガス、ズッキーニ、こなす）
 - ・各品目において栽培管理指導を実施した。アスパラガスでは肥培管理、ズッキーニとこなすでは病害虫防除を重点的に指導した。
- ⑤ 水田土地活用野菜の定着・拡大推進（さといも、露地野菜法人）
 - ・さといもの既存生産者及び志向者に対して、湛水栽培見学会と省力化機械実演会を開催した。また、土地改良区等に対して、さといもの作付け推進を行った。
 - ・露地野菜法人に対しては、JA を交えて新規品目の導入を検討した。

(2) 普及活動の成果

- ① にら産地の維持発展に向けた検討
 - ・産地の危機感を共有したこと等により、鹿沼にら部及び日光にら専門部会の両方で、にら振興方針の策定に至った。
- ② にら栽培技術高度化による多収安定生産、省力化の検討
 - ・県育成品種「ゆめみどり」の特性が生産者に理解され、導入面積が 3,280a（前年産+684a）に拡大した。
- ③ トマトの栽培管理、多収安定生産の確立と高度環境制御によるトマト栽培の推進
 - ・高品質な生産物の安定出荷により、中核経営体数が 5 戸（前年産+2 戸）となった。
- ④ 地域の特徴ある特産品目の安定生産（アスパラガス、ズッキーニ、こなす）
 - ・アスパラガスは、適正な肥培管理を行ったことで、3 カ年平均単収が 1,437kg/10a（前年産+116kg/10a）に向上した。
 - ・ズッキーニ及びこなすは、適正に病害虫が防除でき、3 カ年平均単収がそれぞれ 1,708kg/10a（前年産+57kg/10a）及び 2,525kg/10a（前年産+30kg/10a）に向上した。
- ⑤ 水田土地活用野菜の定着・拡大推進（さといも、露地野菜法人）
 - ・鹿沼里芋研究会に機械導入を推進したところ、作付面積が 751a（前年産+151a）に拡大した。
 - ・露地野菜法人は、業務・加工向けじゃがいもを新規導入し、露地野菜面積が延べ 5,850a（前年産+700a）に拡大した。

(3) 今後の方向・課題

- ・にらは、新品種新技術の導入と基本技術の精度向上、病害虫防除の徹底、重点支援対象への個別支援強化により、より一層の単収向上を図る。
- ・トマトは、資材・燃油価格高騰の影響を強く受けているため、現在産地が所有する施設及び設備を有効利用し、単収向上に取り組む。また、JA 全農とちぎ青果物広域集出荷センターへの出荷に向け、適切な品種の作付け拡大を進める。
- ・アスパラガスは、基本技術の指導に加え、高温対策の検討も行い、更なる単収の向上を目指す。
- ・ズッキーニは、ホルモン剤での着果促進や新品種の導入を検討する。
- ・さといもは、土地改良区等に推進し、新規栽培者を確保するとともに、既存栽培者に対しては機械化により規模拡大を推進する。
- ・露地野菜法人は、作付け品目の検討を継続しながら、補助事業を活用し規模拡大を支援する。
- ・高冷地ほうれんそうは大規模生産者が多く地域の特徴ある品目であるため、新たに計画に位置づけ、近年の気候変動に起因する夏期の暑熱対策を中心に取り組む。

2 新品種・新技術の導入推進によるいちご・花き経営の向上

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：管内いちご生産者、上都賀地方いちご無病苗連絡協議会（増殖施設）、管内きらきら星部会員、施設花き生産者、JA かみつが、鹿沼市、日光市

（１）普及活動の経過

- ① いちご先進技術を活用した栽培管理の高度化による多収安定生産
 - ・JA かみつがいちご部青年部を対象に、基本技術の再点検等の支援を行うとともに、ICT 機器の活用促進による所得向上を図った。
- ② いちご新品種「とちあいか」の普及推進
 - ・新品種「とちあいか」は、98 戸（前年産+38 戸）、18.2ha（前年産+9.6ha）（R6 年産）で栽培された。生産者に対し、サポートチームを設置して栽培管理ポイントの指導を行った。
- ③ いちごリレー苗利用検討
 - ・「とちあいか」の普及推進のため、リレー苗（定植苗）を供給できる体制の整備を支援した。
- ④ あじさい県育成八重咲品種の生産技術の確立
 - ・個別巡回を通して適切な管理を指導するとともに、展示ほを設置し、生産技術の確立を図った。
- ⑤ 新技術導入による、安定生産の推進および活用支援
 - ・施設花きの高温対策技術の確立のため、切り花で遮熱資材の効果を確認し、結果を周知した。また、定例会等で高温対策の情報提供を行った。

（２）普及活動の成果

- ① いちご先進技術を活用した栽培管理の高度化による多収安定生産
 - ・ICT 機器について、青年部等で導入メリットとデータの情報共有が図られたことにより、導入戸数が 34 戸（前年産+4 戸）となった。
- ② いちご新品種「とちあいか」の普及推進
 - ・新品種「とちあいか」は、マニュアルに基づく栽培管理を徹底したことにより、収穫初期の出荷ロスが大幅に減少し、生産の安定化が図られた。
- ③ いちごリレー苗利用検討
 - ・上都賀地方リレー苗生産協議会が設立された。管内苗生産者の協力の下「とちあいか」リレー苗約 1 万本が 5 名の生産者に供給され、「とちあいか」作付面積拡大に繋がった。
- ④ あじさい県育成八重咲品種の生産技術の確立
 - ・あじさい新品種は、各品種の特性理解が進み、栽培が安定化したことにより 22,000 鉢（前年産+1,000 鉢）が定植された。
- ⑤ 新技術導入による、安定生産の推進および活用支援
 - ・各品目において高温対策実施の重要性に関する意識が高まり、技術導入戸数が 4 戸（前年産+2 戸）となった。また、切り花において、環境にやさしい栽培技術として低濃度エタノールによる土壌還元消毒を実施した。

（３）今後の方向・課題

- ・いちごは、ICT 機器の活用促進や「とちあいか」の普及推進により、生産者の所得向上を図る。
- ・あじさいは、展示ほの設置と個別巡回指導を実施し、新品種の導入定着を図る。
- ・施設花きは、高温対策技術等の新技術の普及に向けた情報提供を継続する。また、花き中核経営体育成のために、重点対象者ごとに支援を行う。



とちあいかの現地検討



高温対策実施ほ場での現地検討（鉢物）

3 優良品種・優良技術の普及、担い手の育成による稼げるなし産地の強化

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：JA かみつが梨部、同研究部、同婦人部、青年農業者、女性農業者、新規就農希望者

(1) 普及活動の経過

- ① 優良品種の普及による新たなブランドの創出
 - ・優良品種「甘太」の導入推進、樹冠拡大のための着果・新梢管理、せん定等の個別指導を実施した。
- ② 優良技術の推進による園地の生産性向上、省力化技術による栽培環境の改善
 - ・開花期の凍霜害、低温による結実不良防止のため、講習会や巡回指導により適正な受粉管理と防霜対策を図った。
 - ・省力樹形「新一文字整枝法」導入園において検討会を実施し、推進を図った。
- ③ 生産性低下樹の改植及び土壌病害・いや地現象の改善
 - ・老木樹の改植推進と早期成園化技術の導入定着のため、個別巡回を実施した。また、改植時のいや地現象改善のため資材試験を実施し、結果のとりまとめを行った。
- ④ なし産地を担う人材の育成
 - ・青年農業者等の活動支援として、スマート農業の検討会への参加誘導や視察研修会の実施、新農薬の効果試験、炭素貯留の展示ほ設置を行った。

(2) 普及活動の成果

- ① 優良品種の普及による新たなブランドの創出
 - ・改植に伴う品種構成の見直しにより、優良品種「甘太」の栽培面積の拡大が進んだ。
- ② 優良技術の推進による園地の生産性向上、省力化技術による栽培環境の改善
 - ・管理のポイント資料において気象状況に応じた情報を提供し、各種対策の検討を行い実行することにより、結実確保のための管理が徹底された。
- ③ 生産性低下樹の改植及び土壌病害・いや地現象の改善
 - ・ならたけ病対策マニュアルを作成するとともに、改植による生産性の改善が図られた。
- ④ なし産地を担う人材の育成
 - ・青年農業者等の重点対象者の個別巡回や、組織ごとの研修会を実施したことで、資質向上が図られた。

(3) 今後の方向・課題

- ・老木園の部分改植を推進し、優良品種「甘太」の導入推進を継続するとともに、栽培技術の確立を図るため、収量性や品種特性を調査し栽培マニュアルの作成を行う。
- ・気象災害対策の実施と、被害防止技術導入を継続支援する。
- ・整枝せん定の省力化を目的とした「新一文字整枝法」の技術確立を図る。
- ・安定した結実を確保するため、花粉採取技術の検討及び支援を行う。
- ・老木改植時の土壌病害やいや地現象改善対策技術の検討を継続し、対策マニュアルを活用した改植を推進する。
- ・青年農業者や女性農業者を重点的に支援するとともに、学習活動への誘導を図る。



新一文字整枝法



青年農業者を対象とした視察研修会

4 収益性の高い土地利用型経営体の育成

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：大規模経営体、人・農地プランモデル地区、水田露地野菜モデル産地、JA 大豆部会等

(1) 普及活動の経過

- ① 担い手のネットワーク化による農地集約化の推進
 - ・塩野室地区の若手土地利用型担い組織「米米くらぶ」の活動を支援した。また、「農業経営の法人化」に関する研修会の開催や塩野室地区の農業のあり方検討会開催を支援した。
- ② 効率的な畦畔管理体制の調査研究・推進
 - ・副業を活用した草刈隊について、課題を整理した。
- ③ スマート農業技術の普及拡大
 - ・ほ場管理システム導入農家への聞き取り調査を実施した。
- ④ 水田土地活用野菜の導入推進
 - ・「上都賀地方さといも推進 2.0」に基づき、ほ場整備計画地区への導入推進、実演会・見学会への参加誘導を行った。
- ⑤ 高品質・安定栽培技術の確立
 - ・斑点米カメムシ類の適期防除推進のため、対策チラシ 9,000 部を配布した。また、防除効果検証のため、フェロモントラップの設置や、すくい取り調査を実施した。
 - ・R4 年産米品質低下要因について関係機関と協議し、R5 年産の重点対象地域を設定した。
 - ・シュンライの硝子率低減のため、適期播種推進に向けた個別巡回と情報提供を行った。また、新規で作付を開始する農業法人に対し、技術支援を行った。
 - ・「ゆめかおり」を栽培開始した農業法人に対し、適期刈取等技術支援を行った。
 - ・水稻、大豆の放射性物質吸収抑制対策のチラシを配布し、塩化カリの適正施用を周知した。
 - ・水稻の放射性物質吸収抑制対策のため、効果検証ほの設置及び特定ほ場の効果検証を行った。



さといもマルチ巻き上げ機実演

(2) 普及活動の成果

- ① 担い手のネットワーク化による農地集約化の推進
 - ・塩野室地区の若手担い手ネットワーク組織「米米くらぶ」は、メンバー内の情報共有により、地域の土地利用型農業の方向性について関心が高まったことから、農業経営の法人化に係る研修会の開催に至った。
- ③ スマート農業技術の普及拡大
 - ・ドローンを中心として、土地利用型農業の担い手等 100 戸に導入された。また、日光市に RTK 基地局が設置されたことで、自動操舵機器導入等による効率化への期待が高まった。
- ④ 水田土地活用野菜の導入推進
 - ・土地改良事業計画地区等に湛水栽培見学会と省力化機械実演会への誘導を図った結果、次年度は荊沢地区で 20 a の試作に取り組むこととなった。
- ⑤ 高品質・安定栽培技術の確立
 - ・上都賀地区の R5 年産コシヒカリはカメムシによる吸汁被害や高温等の影響により、一等米比率は 87.8% (県平均 86%) となり、R4 年産 (94.6%) より大幅に低下した。

(3) 今後の方向・課題

- ・塩野室地区の地域計画の話合いにおいて、「米米くらぶ」メンバーが主体的に話し合いに参画し、将来の担い手として明確化されるよう支援していく。
- ・サービス事業者等新たな畦畔管理事例を研究するとともに、地域計画策定の話合い等において、地域の畦畔管理体制について課題共有を図る。
- ・RTK 基地局を活用し、スマート農業機器活用による省力化や生産性向上に向けた活用事例調査により活用方法の提案を行う。
- ・土地改良区等を対象に高収益作物としての導入推進及び既存の生産者に対して、規模拡大に向けた省力化機械の導入を推進する。
- ・斑点米カメムシ類対策について、引き続き JA と連携して体系防除の推進及び効果検証を行うとともに、防除体制の再構築について検討する。高温対策として、「とちぎの星」への作付転換を推進する。

5 畜産生産基盤の強化と経営継続支援

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：和牛肥育部・繁殖部、畜産経営法人、畜産認定農業者等

(1) 普及活動の経過

- ① 畜産経営の生産性向上支援
 - ・和牛出荷子牛の販売価格向上のため、矢板子牛市場にて出荷成績に基づく技術指導や、栃木県の子牛育成マニュアルに基づく育成指導を行った。
- ② 畜産経営の継続支援
 - ・経営移譲を検討する農家や、経営改善や規模拡大を指向する農家に対して経営相談を実施した。
 - ・臭気低減に向け、農場臭気マップを作成して対策指導を実施し、その効果を検証した。
- ③ 公共牧場の有効利用
 - ・ドローンを活用した牧草種子の播種を行い、種子の定着状況や、生育状況を調査した。
 - ・獣害対策として電気牧柵を設置し、センサーカメラにてその効果を検証した。
- ④ 水田を活用した飼料作物の生産向上
 - ・子実とうもろこしの定着支援を実施した。
 - ・飼料作物の生産収穫機器等の導入支援を実施した。
 - ・地域の耕畜連携コーディネーターと連携し、次年度の稲WCS生産組織の作付け予定面積拡大を図った。



矢板家畜市場の様子



前日光放牧場（鹿沼市）
対策牧区への侵入を諦める鹿たち

(2) 普及活動の成果

- ① 畜産経営の生産性向上支援
 - ・子牛の日増体は0.945kg程度（前年度+4g）まで上昇した。発育良好で市場平均体重と同程度以上の子牛も増えた。
- ② 畜産経営の継続支援
 - ・第三者へ経営以上を希望する農家に対しての支援や、法人化の意向をもつ飼料生産組織に対して専門家を派遣した結果、今後計画的に継承を進めていくことになった。
 - ・臭気対策では、臭気指数を地図上マッピングすることで臭気の出所が明らかとなり、その場所から臭いが拡散しないように対策したことで、敷地境界における臭気が低減した。
- ③ 公共牧場の有効利用
 - ・今年度の管内公共牧場放牧利用面積は270ha（前年同）、主な公共牧場の放牧頭数は、前日光39頭、上栗山29頭、横川30頭であり、利用頭数は伸びている（15頭増）。
 - ・前日光牧場では、ドローンによる牧草種子の播種の有用性が実証できた。また、電気牧柵を設置することで、鹿の侵入をある程度防除することができた。
- ④ 水田を活用した飼料作物の生産向上
 - ・管内の飼料生産組織の自給飼料栽培面積は、約2ha程度と伸び悩んだが、耕畜連携コーディネーターによる取組支援により、次年度の作付け面積拡大が図られた。
 - ・子実とうもろこしは、ドローンを活用した害虫防除が可能で、600kg/10a以上を収穫出来るほ場もあったことから、今後の普及が期待できる結果が得られた。



子実とうもろこし収穫の様子

(3) 今後の方向・課題

- ・肉牛は、子牛の市場販売価格の向上に加え、肥育農家の枝肉重量増加に向けた取組を行うことで、所得向上を目指す。
- ・経営継承や規模拡大、法人化等を目指す農家に対し専門家を派遣し、高度な支援を実施する。
- ・放射性物質対策（土壌中加里の分析・牧草給与前検査）を継続するとともに、獣害対策等を実施し、公共牧場の機能強化を図る。
- ・自給粗飼料生産組織の支援や新たな組織の立ち上げ支援を行い、地域内の自給飼料生産量の増大を図るとともに、利用希望農家とのマッチング支援を行う。

6 次世代の地域農業をけん引する人材の確保・育成

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：就農希望者、研修生、新規就農者、生産組織、青少年クラブ員、中学生・高校生等

(1) 普及活動の経過

- ① 青少年への農業・農村の魅力発信
 - ・鹿沼南高校、農業士及び新規参入者等と連携し、農業の魅力発信のため講演会を開催した。
- ② 園芸産地と連携した就農研修制度の充実・強化
 - ・研修生を確保するため、募集期間を拡大し、HP や各種広報誌等を活用して体験会の周知と研修生の募集を行った。
 - ・いちご・にら栽培体験会の参加者確保のため、開催時期の早期周知と内容の充実を図った。
 - ・先輩農業者とのネットワークを構築するため、研修生参加型現地検討会を実施した。
 - ・就農支援ネットワーク会議等により、日光市いちご体験会を初めて開催した。
- ③ 他産業で働く農家後継者を呼び込む活動の展開
 - ・人材確保・就農定着チームでUターン就農啓発資料を4,400部作成し、管内小学校低学年の保護者、鹿沼南高校及び関係機関に配付し、就農意欲の喚起を図った。
 - ・就農支援ネットワーク会議で情報の共有を図ることで、効果的な支援体制を整備した。
 - ・市、関係機関・団体と連携して就農相談を実施した。
- ④ 円滑な就農定着に向けたサポートの強化
 - ・重点指導対象者(19名)を選定し、リスク管理表による指導経過を共有するとともに、経営評価を活用し、個別の支援方策について検討を行った。
 - ・フレッシュファーマーアカデミーを開催し(12回)、農業の基礎知識に関する研修を実施した。
 - ・市、関係機関・団体と連携し、支援計画の作成とサポートチームによる個別巡回を実施した。
- ⑤ 青少年クラブの活性化に向けた支援強化
 - ・新規青少年クラブ員の確保、経営技術改善セミナーや県内・県外視察研修、0フェスの開催等、各市及び地区事業の活動を支援した。

(2) 普及活動の成果

- ① 青少年への農業・農村の魅力発信
 - ・鹿沼南高校で開催した、農業士、新規参入者、農業法人による講演会を通して、農業の魅力を発信できた。
- ② 園芸産地と連携した就農研修制度の充実・強化
 - ・R5年度は鹿沼市でいちご3名、にら1名が研修を開始した。また、いちご、にら栽培体験会(計4回)を開催し、延べ28名が参加した。その結果、R6年度の研修に11名の申込があり、9名の受講が決定した。
- ③ 他産業で働く農家後継者を呼び込む活動の展開
 - ・新規就農者(雇用就農者を含む)を31名確保した。
- ④ 円滑な就農定着に向けたサポートの強化
 - ・リスク管理表による評価検討会の結果、9名を継続指導することとした。
 - ・フレッシュファーマーアカデミーに13名が入園し、10名が修了した。
 - ・新規就農者11名に対して、サポートチームによる個別巡回を行い営農状況を確認し支援を実施した。
- ⑤ 青少年クラブの活性化に向けた支援強化
 - ・新規クラブ員が鹿沼市で2名確保された。
 - ・各市・地区組織それぞれで独自の活動を支援できた。



日光市いちご体験会



地区青少年クラブ
経営技術改善セミナー

(3) 今後の方向・課題

- ・青少年に農業の魅力を伝達し、就農意欲の喚起を図る。
- ・園芸産地と連携し、就農研修制度の充実・強化と研修制度の認知度向上等を図る。
- ・Uターン就農者確保のため、啓発資料の配付を行うとともに、随時個別相談を実施する。
- ・就農定着のサポート体制強化のため、新規就農者のリスク管理表等に基づく個別支援を行う。
- ・青少年クラブの活性化に向け、新規クラブ員の加入や各市・地区組織の活動を支援する。

7 多様な担い手の確保と稼げる経営体の育成

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：認定農業者、法人化志向農業者、生産組織、6次産業化実践・志向農家、若手女性農業者、女性農業者、集落営農組織

(1) 普及活動の経過

- ① 経営高度化による個別経営体の育成
 - ・意欲ある経営体をリスト化し、診断及びカルテ作成を行った。3経営体に対して専門家の個別派遣を実施した。
 - ・農業経営相談会を開催した。専門家を招へいし、経営相談を実施した（3件8名）。
 - ・市と連携し、経営改善計画の作成と審査を支援した（計108件、内再認定79件、新規29件）。
 - ・経営改善情報誌「Power up!!」を発行し（2回）、認定農業者等に配付した。
 - ・「とちぎグリーン農業の推進」をテーマに経営発展研修会を開催し、講演会と事例発表会を実施した（参加者37名）。
- ② 6次産業化を実践する経営体の育成
 - ・6次産業化実践農家の意向調査を実施し、6次産業化の意向がある農業者に対しセミナー等の情報提供を行った。
- ③ 地域を担う女性農業者の確保・育成
 - ・講座制研修「スタートアップ講座」や「アクティブ講座」と併せて交流会を開催し、「かみつが農業女子」への加入推進を図った。
- ④ 次世代に向けた集落営農組織の連携・再編
 - ・鹿沼市南押原地区内の5集落営農組織で「集落営農のあり方検討会」を実施し（3回）、組織の課題を整理した。
 - ・鹿沼市千渡地区ほ場整備推進協議会営農検討部会の話し合いを支援し、有機酒米による栽培品目拡大に向けた現地研修会を実施した。



経営相談会



経営発展研修会



アクティブ講座

(2) 普及活動の成果

- ① 経営高度化による個別経営体の育成
 - ・「農業経営相談会」の開催や専門家と連携した個別支援を実施したことで、経営改善の方向性が明確化された。R6年1月に管内の機械利用組合が法人化した。
 - ・経営改善情報誌や経営発展研修会を通して、認定農業者の経営者意識が向上した。
- ② 6次産業化を実践する経営体の育成
 - ・アンケート等により新規に6次産業化を開始した又は始めようとする経営体を把握できた。
- ③ 地域を担う女性農業者の確保・育成
 - ・「かみつが農業女子」のメンバーが17名（前年度+11名）となり、交流や活動が活発化した。
 - ・アクティブ講座の受講により、経営スキルアップ及び経営参画意欲向上が図られた。
- ④ 次世代に向けた集落営農組織の連携・再編
 - ・「集落営農のあり方検討会」の中で、現状を共有化したことにより、解決策の一助として5集落営農組合による連携協定の締結につながった。
 - ・鹿沼市千渡地区では、営農集団による、有機酒米生産の気運が高まり、次年度試験栽培が始まることとなった。

(3) 今後の方向・課題

- ・関係機関等と連携し、意欲ある経営体を確保する。カウンセリングにより経営体の問題点と課題を明らかにし、専門家と連携してコンサルテーションを行うことで経営管理、労務管理、法人化、経営継承等の課題解決を支援する。
- ・経営改善情報誌の内容の充実と経営改善に向けた研修会を開催し、経営者意識の向上を図る。
- ・6次産業化を志向する経営体に、研修会や商談会等について情報提供し、継続的に支援する。
- ・「かみつが農業女子」のプロジェクト活動について、意見交換の場を創出する。
- ・5集落営農組織の連携協定が実効性を高めるため継続して会議等の開催支援を行う。
- ・鹿沼市千渡地区については、有機酒米生産に向けた支援と高収益作物の作付を推進する。

8 持続可能な地域農業の構築

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：JA 生産組織、直売所運営組織、JA かみつが、いちご生産者、鹿沼市、日光市、県西環境森林事務所、認定農業者、生産組織、実証展示ほ農家、有機農業者

(1) 普及活動の経過

- ① 農業生産組織への GAP 農場点検実施の推進
 - ・JA かみつがと連携して GAP 農場点検の実施を推進した。
 - ・安全安心研修会において、直売所運営者及び代表者を対象とした直売所 GAP についての講演会を開催し、GAP の理解促進と実践を推進した。
- ② 野生鳥獣による農作物の被害軽減
 - ・市鳥獣被害防止対策協議会による鳥獣被害防止柵の設置及びくくりわな・箱わなの設置を支援した。
 - ・鳥獣管理士と連携し、いちごを食害するハクビシン等の地域別出現状況調査等を実施した。
- ③ とちぎグリーン農業の推進（みどりの食料システム戦略の推進）
 - ・とちぎグリーン農業について、農業経営情報誌で理解促進を図った。また、市や関係機関との連携を図るため、担当者会議や視察研修会を開催した。
 - ・化学農薬低減技術実証展示ほを設置し、調査や検討会を実施した。
 - ・有機農業実践者への聞き取りによる栽培状況調査を基に研修会の開催や有機栽培暦の作成を行った。
 - ・所内での推進体制を整備し、認定農業者やエコファーマーへの周知により、「みどり認定」の推進を図った。



ハクビシン出現状況調査



グリーンな栽培体系への転換
サポート展示ほ現地検討会

(2) 普及活動の成果

- ① 農業生産組織への GAP 農場点検実施の推進
 - ・JA 生産組織では、農場点検デモンストレーションを行ったところ、GAP への理解が深まり、具体的なリスク管理について部会員同士の意識統一が図られた。
 - ・直売所運営組織への GAP 研修会参加者からは「できるところから始めて農産物の質を高めていきたい」との声が聞かれた。
- ② 野生鳥獣による農作物の被害軽減支援
 - ・鹿沼市において鳥獣被害防止柵 8,236m、箱わな 43 基、くくりわな 177 基、日光市において鳥獣被害防止柵 1,850m、くくりわな 345 基、くま用わな 3 基が整備された。
 - ・3 地域においてハクビシン等の出現状況を把握し、鳥獣管理士と連携して対策を指導した。
- ③ とちぎグリーン農業の推進（みどりの食料システム戦略の推進）
 - ・グリーン農業について理解促進が図られ、両市において市推進体制を整備する方向となった。
 - ・有機酒米とさといもについて、有機栽培暦を作成することができた。
 - ・「みどり認定」の認定をすることができた（個別認定 3 件、グループ認定 2 件）。
 - ・「グリーンな栽培体系」への転換を推進するため、展示ほを 3 か所設置し、産地に適した環境にやさしい栽培技術を実証することができた。

(3) 今後の方向・課題

- ・安全・安心な農産物の提供を中心とした支援や実施組織のフォローアップ、希望者に対する国際水準 GAP 取得の支援を行う。
- ・被害をもたらす鳥獣の地域別出現状況を調査し、鳥獣管理士と連携して対策指導を継続して行う。
- ・市の振興計画との整合性を図りながら、とちぎグリーン農業推進方針の実現に向けて、市協議会等において具体的な対応策について検討する。
- ・「みどり認定」について、経営改善情報誌による意識啓発を図りつつ、グループ申請を中心に推進する。

IV 各種コンクール等受賞者一覧

1 全国関係

コンクール等名	受賞区分	受賞者	
		氏名	市町名
第51回毎日農業記録賞	優秀賞	株式会社永田牧場 永田 聡	鹿沼市
令和5年度全国優良経営体表彰 【経営改善部門】	全国担い手育成総合支援 協議会会長賞	福田 清文	日光市

2 県関係

コンクール等名	受賞区分	受賞者	
		氏名	市町名
第5回栃木県農業大賞 【農業経営の部】	知事賞	有限会社ジョルディカワムラ 川村 一徳	日光市
第5回栃木県農業大賞 【芽吹き力賞】	知事賞	日光SGS 会長 鷹箸 稔	日光市
令和5年度優良担い手表彰事業 【優良認定農業者の部（個人）】	優良賞	大類 英明	鹿沼市

3 表彰事業

コンクール等名	受賞区分	受賞者	
		氏名	市町名
令和5年産いちご良品質多収穫 コンクール	栃木県知事賞	江俣 伸一	鹿沼市
令和5年度栃木県シクラメン& 冬の鉢花展覧会	栃木県知事賞	吉原 祐樹	日光市
第52回鹿沼さつき祭り	栃木県知事賞	島田 博靖	鹿沼市

V 上都賀地方の農業・農村の動き

1 農地等の状況

(1) 耕地等面積

(単位：ha・%)

区分 市町名	総土地面積 (A)	耕地面積			耕地率 (B) / (A)
		田	畑	計 (B)	
鹿沼市	49,064	3,940	1,480	5,410	11.0
日光市	144,983	4,060	1,230	5,290	3.6
地区計	194,047	8,000	2,710	10,700	5.5
県計	640,809	93,900	26,800	120,700	18.8
地区計 / 県計	30.3	8.5	10.1	8.9	

資料：総土地面積は国土交通省国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」
耕地面積は農林水産省「統計調査（令和5年耕地面積）」

(2) 農業振興地域

(単位：ha・%)

区分 市町名	農振地域 総面積 (A)	うち 農地面積	農用地						混牧 林地	農業用 施設用 地面積	混牧 林地 以外の 山林 原野	その他	農用地 設定率 (B)/(A)
			農地				採草 放牧地	計 (B)					
			田	畑	樹園地	計							
鹿沼市	12,174	5,614	3,857	1,513	244	5,614	58	5,672	0	40	3,533	2,930	47
日光市	13,901	5,597	4,118	1,427	52	5,597	845	6,441	0	14	4,398	3,047	46
地区計	26,075	11,211	7,974	2,940	296	11,211	903	12,114	0	54	7,931	5,977	46
県計	285,732	125,199	92,553	30,042	2,604	125,199	1,996	127,196	50	862	76,162	81,463	45

※ 令和5年12月31日現在

資料：令和4年 確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況調査

(3) 農地の動き

① 農地法第3条

(単位：ha)

年度 市町名	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鹿沼市	106	69.8	135	87.7	128	75.6	134	78.9	141	93.4	177	120.9
日光市	88	82.5	83	61.6	67	84.4	79	74.7	74	58.1	70	72.5
地区計	194	152.3	218	149.3	195	160.0	213	153.6	215	151.5	247	193.4
県計	2,542	1,783.6	3,141	2,304.8	2,754	2,162.0	2,865	2,398.7	3,094	2,297.2	3,469	2,845.0

資料：農地権利移動・借地等調査

② 転用面積

(単位：ha)

年度 市町名	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鹿沼市	279	39.6	283	34.8	226	24.7	303	40.4	207	17.2	334	51.5
日光市	65	8.8	79	8.5	62	5.9	62	5.6	78	10.0	76	12.1
地区計	344	48.4	362	43.3	288	30.6	365	46.0	285	27.2	410	63.6
県計	3,934	347.0	4,138	384.0	4,037	377.0	3,500	347.0	3,827	364.0	3,594	367.7

資料：農地権利移動・借地等調査

③ 利用権設定面積

(単位：ha)

年度 市町名	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鹿沼市	161	83.6	284	162.7	236	120.2	223	105.2	170	84.3	186	90.6
日光市	259	190.9	259	193.3	374	254.5	371	271.3	284	199.2	271	182.9
地区計	420	274.5	543	356.0	610	374.7	594	376.5	454	283.5	457	273.5
県計	9,883	5,630.0	12,472	6,213.0	11,409	5,677.0	9,801	5,294.0	10,612	4,715.0	11,625	5,937.9

資料：農地権利移動・借地等調査

④ 担い手への農地集積率

(単位：%)

年度 市町名	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
鹿沼市	31	34	36	37	38	44	45	45	46	48
日光市	32	36	38	41	41	41	42	41	42	44
地区計	32	35	37	39	39	43	44	43	44	46
県平均	40	43	47	49	51	52	53	52	52.7	52.7

資料：担い手及びその農地利用の実態に関する調査

(4) ほ場整備の実施状況

(単位：ha、%)

市町名	ほ場整備実施状況							水田整備率※ 上段：20a以上 下段：30a以上
	対象面積	実施面積（上段：20a以上、下段：30a以上）						
		平成27年度 まで	(未集計)	(未集計)	(未集計)	(未集計)	計	
		令和元年度 まで	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
鹿沼市	3,361.7	2,446.0	-	-	-	-	2,446.0	72.8
		2,213.0	29.1	15.6	0.0	0.0	2,257.7	67.2
日光市	3,129.3	1,113.0	-	-	-	-	1,113.0	35.6
		1,108.9	1.3	0.0	0.0	29.8	1,140.0	36.4
管内計	6,491.0	3,559.0	-	-	-	-	3,559.0	54.8
		3,321.9	30.4	15.6	0.0	29.8	3,397.7	52.3
県計	81,057.7	58,464.0	-	-	-	-	58,464.0	72.1
		55,657.4	161.3	197.8	134.2	134.2	56,284.9	69.4

※ 整備率は、平成28年度から30a以上に見直し。

(5) 農業集落排水事業の実施地区一覧

(単位：人)

市町名	地区名	処理対象人口	工期	摘要
鹿沼市	北半田	1,120	平成2～6年	5集落供用開始
鹿沼市	下南摩	1,320	平成6～10年	3集落供用開始
鹿沼市	酒野谷	1,030	平成8～12年	5集落供用開始
鹿沼市	菊沢西	1,480	平成15～20年	12集落供用開始

(6) 農道、集落道の整備状況

舗装完了延長（単位：m）

区分	市町名	令和元年度 まで	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
県営事業	広域農道	鹿沼市	-	-	-	-
		日光市	19,170	-	-	-
	ふるさと農道	鹿沼市	9,659	-	-	-
		日光市	9,340	-	-	-
	ほ場整備	鹿沼市	447	-	-	-
		日光市	650	-	-	-
団体営事業	農道整備	鹿沼市	4,975	-	-	-
		日光市	10,162	-	-	237

2 農家等の状況

(1) 農 家

① 総農家戸数

(単位：戸・%)

市町名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
鹿沼市	5,032	4,598	4,171	3,830	3,325	2,782
日光市	3,425	3,102	2,912	2,656	2,264	1,923
地区計	8,457	7,700	7,083	6,486	5,589	4,705
県計	83,766	77,532	71,510	64,344	55,446	46,202
地区計 / 県計	10.1	9.9	9.9	10.1	10.1	10.2

資料：農林業センサス

② 主業農家

(単位：戸・%)

市町名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
鹿沼市	956	850	797	643	520	400
日光市	554	385	385	311	252	243
地区計	1,510	1,235	1,182	954	772	643
県計	17,402	14,159	12,980	11,015	8,883	7,417
地区計 / 県計	8.7	8.7	9.1	8.7	8.7	8.7

資料：農林業センサス（平成7年までは総農家戸数の内数、平成12年以降は販売農家戸数の内数）

③ 販売農家

(単位：戸・%)

市町名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
鹿沼市	4,314	3,879	3,233	2,769	2,314	1,843
日光市	2,880	2,575	2,245	1,970	1,656	1,360
地区計	7,194	6,454	5,478	4,739	3,970	3,203
県計	71,881	65,042	56,016	47,840	39,810	31,993
地区計 / 県計	10.0	9.9	9.8	9.9	10.0	10.0

※ 販売農家：経営耕地面積が30a又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

資料：農林業センサス

④ 農産物販売金額規模別販売農家数

(単位：戸、%)

市町名	計	販売なし	50万円未満	50～100万円	100～300万円	300～500万円	500～1000万円	1000～3000万円	3,000万円以上	1,000万円以上比率
鹿沼市	1,900	207	479	329	338	120	149	215	63	15
日光市	1,390	99	308	291	382	104	92	74	40	8
地区計	3,290	306	787	620	720	224	241	289	103	12
県計	32,726	2,705	6,750	5,819	7,741	2,650	2,870	3,074	1,117	13
地区計 / 県計	10.1	11.3	11.7	10.7	9.3	8.5	8.4	9.4	9.2	—

資料：2020年農林業センサス

⑤ 経営耕地面積規模別販売農家数

(単位：戸、%)

市町名	計	0.3ha未満	0.3ha～0.5ha	0.5ha～1.0ha	1.0ha～2.0ha	2.0ha～5.0ha	5.0ha～10ha	10ha～20ha	20ha以上	5.0ha以上比率
鹿沼市	1,900	42	235	497	621	396	74	22	13	6
日光市	1,390	22	147	309	400	361	87	43	21	11
地区計	3,290	64	382	806	1,021	757	161	65	34	8
県計	32,726	515	3,334	7,207	9,179	8,439	2,447	1,077	528	12
地区計 / 県計	10.1	12.4	11.5	11.2	11.1	9.0	6.6	6.0	6.4	—

資料：2020年農林業センサス

(2) 栃木県農業士等の認定状況

(単位：人)

市町名	農業士		女性農業士		名誉農業士		計	
	うち令和5年度		うち令和5年度		うち令和5年度		うち令和5年度	
鹿沼市	20		5		22		47	
	2		0		1		3	
日光市	10		3		16		29	
	0		0		2		2	
地区計	30		8		38		74	
	2		0		3		5	
県計	190		89		263		542	
	12		1		15		28	

※令和6年2月末時点

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(3) 新規就農者

(単位：人、%)

市町名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
鹿沼市	13 (3)	15 (4)	12 (5)	11 (3)	18 (2)
日光市	5 (4)	5 (1)	7 (2)	11 (1)	8 (3)
地区計	18 (7)	20 (5)	19 (7)	22 (4)	26 (5)
県計	191 (110)	197 (110)	193 (129)	226 (144)	234 (116)
地区計 / 県計	9.4	10.2	9.8	9.7	11.1

※ () は外数で雇用就農者数

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(4) 集落営農組織数

(単位：件)

市町名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年3月末	令和5年3月末	令和6年3月末
鹿沼市	13 (1)	13 (1)	19 (1)	19 (1)	12 (1)	12 (1)
日光市	9 (4)	9 (4)	11 (4)	11 (4)	8 (3)	8 (3)
地区計	22 (5)	22 (5)	30 (5)	30 (5)	20 (4)	20 (4)
県計	246 (58)	238 (56)	241 (56)	247 (57)	236 (59)	

※1 令和5年度から調査方法の変更あり（人農地プランへの記載のない集落営農法人を除く）

※2 () は法人数

経営技術課調べ

(5) 農業経営改善計画の認定状況

(単位：人、件)

市町名	平成31年3月末		令和2年3月末		令和3年3月末		令和4年3月末		令和5年3月末	
	法人	共同申請	法人	共同申請	法人	共同申請	法人	共同申請	法人	共同申請
鹿沼市	467		463		456		444		442	
	22	25	24	20	24	20	25	19	26	19
日光市	274		268		270		275		274	
	20	23	20	23	22	16	23	22	24	24
地区計	741		731		726		719		716	
	42	48	44	43	40	36	48	41	50	43
県計	8,148		8,148		7,672		7,575		7,632	
	424	706	458	762	471	763	493	781	506	809

※ 法人、共同申請は内数

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(6) 家族経営協定の締結状況

(単位：件)

市町名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	累計
鹿沼市	0 (1)	4 (1)	1 (0)	6 (1)	4 (0)	195
日光市	3 (0)	3 (0)	2 (2)	4 (1)	0 (0)	143
地区計	3 (1)	7 (1)	3 (2)	10 (2)	4 (0)	338
参考：県内締結数 (総数)	3,815	3,891	3,952	4,013	集計中	

※1 各市及び地区計は、各年の新規締結件数と累計締結数

※2 () は締結内容見直し件数

※3 参考：県内締結数(総数)は、県内で締結されている協定の総数

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(7) GAP認証の取得状況

① GAP認証取得数

(単位：件)

市町名	GLOBALG. A. P.	ASIAGAP	JGAP	とちぎGAPの 第三者確認
	経営体数	経営体数	経営体数	経営体数
鹿沼市	0	0	0	5
	0	0	0	13
日光市	0	0	1	1
	0	0	5	1
地区計	0	0	1	6
	0	0	5	14
県計	12	3	25	19
	12	3	38	90

※ 令和6年3月末時点

上都賀農業振興事務所、県経営技術課調べ

② GAP認証の取得経営体・団体一覧

(単位：件)

認証名	市町名	取得経営体・団体名	経営体数
とちぎGAPの 第三者確認	鹿沼市	小島 和実	1
		株式会社フレッシュ園渡辺 代表取締役 渡邊 優樹	1
		上都賀農協梨部とちぎGAP取得研究会	9
		ベリーズファン代表 鈴木 康介	1
		手塚 清	1
	日光市	半田 耕一	1

※ 令和6年3月末時点

(8) みどり認定の取得状況

(単位：件)

	市町名	認定年月	認定者(団体)名	品目	経営体数
1	鹿沼市	令和5年7月4日	江俣 伸一	いちご	1
2	日光市	令和5年9月8日	福田 隆夫	りんどう	1
3		令和5年9月25日	石川 正夫	いちご	1
4		令和6年3月6日	JAかみつが日光にら専門部会	にら	34
5		令和6年3月28日	小林地区玉ねぎ生産組合	たまねぎ	7
鹿沼市計					1
日光市計					43
地区計					44
県計					384

※ 令和6年3月末時点

上都賀農業振興事務所、県経営技術課調べ

(9) 農業者組織の状況

組 織 名	会 員 数	会 長	副 会 長	備 考
地区農業者懇談会	-	田中 一広	-	
上都賀地区農業士会	48	関根 直人	福田 一夫 高橋 和子	会計：柴山 裕男 岡 裕人 ※農業士30人、女性9人、 名誉9人
鹿沼市農業士会	24	柴山 裕男	-	※農業士19人、女性5人
日光市農業士会	27	岡 裕人	-	※農業士11人、女性4人、 名誉12人
上都賀地区認定農業者協議会	316	市田 博	齋藤 陽一	
鹿沼市認定農業者協議会	168	市田 博	福田 茂輝 渡邊 宏幸	
日光市認定農業者協議会	148	齋藤 陽一	池田 雄一 齋藤 雅人	
上都賀地方青少年クラブ協議会	20	石澤 大空	-	
鹿沼市青少年クラブ協議会	11	石澤 大空	-	
日光市青少年クラブ協議会	9	宮本 大暉	-	
国際農友会上都賀支部	18	山中 橘男	神山 卓也	
上都賀地区 農村生活研究グループ協議会	63	早乙女 八重子	吉原 静枝	事務局長：和久井 房子 会 計：大塚 千枝子 石川 昌子
鹿沼市農村生活研究 グループ協議会	37	早乙女 八重子	坂巻 直美	
日光市農村生活研究 グループ協議会	26	吉原 静枝	石川 昌子	
上都賀地区農村女性会議	13組織	早乙女 八重子	松嶋 和子 高橋 敏子 神山 茂子 田代 恒子	事務局長：安生 芳子 会 計：若林 きく 手塚 信子

※ 令和5事業年度

3 農業生産等の状況

(1) 水 稲

(単位：ha、t、%、kg/10a)

市 町 名	作付面積（子実用）					収穫量（子実用）					10aあたり収量				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
鹿沼市	2,160	2,190	2,000	1,810	1,930	10,600	10,900	10,100	8,990	10,000	489	498	507	497	520
日光市	2,370	2,340	2,230	2,060	2,100	12,000	11,900	11,600	10,300	11,100	507	508	518	499	528
地区計	4,530	4,530	4,230	3,870	4,030	22,600	22,800	21,700	19,290	21,100	/				
県 計	59,200	59,200	54,800	50,800	51,400	311,400	318,500	300,900	270,300	284,200					
県計に占める地区計の割合	7.65	7.65	7.72	7.62	7.84	7.26	7.16	7.21	7.14	7.42					
県 (作況指数)											526 (97)	538 (101)	549 (101)	532 (97)	553 (104)

資料：農林水産省「作物統計調査（水稲）」

(2) 麦

① 麦類計

(単位：ha、t、%)

市 町 名	作 付 面 積					収 穫 量				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
鹿沼市	212	193	191	225	223	654	548	655	528	666
日光市	30	39	39	44	44	96	126	132	93	140
地区計	242	232	230	269	267	750	674	787	621	806
県 計	12,634	12,671	12,622	12,716	12,811	47,105	43,866	48,057	45,038	49,130
県計に占める地区計の割合	1.96	1.83	1.82	2.12	2.08	1.59	1.54	1.64	1.38	1.64

資料：農林水産省「作物統計調査（麦類）」

② 六条大麦

(単位：ha、t、%)

市 町 名	作 付 面 積					収 穫 量				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
鹿沼市	202	184	191	205	216	622	527	655	490	644
日光市	27	36	39	44	44	86	119	132	93	140
地区計	229	220	230	249	260	708	646	787	583	784
県 計	1,570	1,670	1,640	1,690	1,720	5,260	5,040	4,580	4,230	5,070
県計に占める地区計の割合	14.59	13.17	14.02	14.73	15.12	13.46	12.82	17.18	13.78	15.46

資料：農林水産省「作物統計調査（麦類）」

③ 小麦

(単位：ha、t、%)

市町名	作付面積					収穫量				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
鹿沼市	10	9	x	7	7	32	21	x	16	22
日光市	3	3	x	x	x	10	7	x	x	x
地区計	13	12	x	7	7	42	28	x	16	22
県計	2,290	2,300	2,290	2,380	2,480	9,340	7,800	8,060	8,690	8,630
県計に占める地区計の割合	0.57	0.52	-	0.29	0.28	0.45	0.36	-	0.18	0.25

※1 x：統計数値が公表されていない

※2 -：計算不可

資料：農林水産省「作物統計調査（麦類）」

(3) 大豆

(単位：ha、t、%)

市町名	作付面積					収穫量				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
鹿沼市	44	41	x	42	53	71	73	x	76	80
日光市	84	75	83	89	90	118	122	136	174	118
地区計	128	116	83	131	143	189	195	136	250	198
県計	2,340	2,250	2,350	2,510	2,630	3,560	3,490	3,480	4,690	3,550
県計に占める地区計の割合	5.47	5.16	3.53	5.22	5.44	5.31	5.59	3.91	5.33	5.58

※ x：統計数値が公表されていない

資料：農林水産省「作物統計調査（大豆）」

(4) そば

(単位：ha、t、%)

市町名	作付面積					収穫量				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
鹿沼市	239	259	317	343	382	148	228	250	297	236
日光市	389	389	386	402	457	265	354	305	323	277
地区計	628	648	703	745	839	413	582	555	620	513
県計	2,960	3,030	3,090	3,280	3,450	2,340	2,850	2,130	2,760	2,240
県計に占める地区計の割合	21.22	21.39	22.75	22.71	24.32	17.65	20.42	26.06	22.46	22.90

資料：農林水産省「作物統計調査（そば）」

(5) 畜産

(単位：戸、頭、羽)

市町名	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数
鹿沼市	23	1,084	30	2,417	8	5,252	13	138,204
日光市	14	1,391	25	1,373	11	16,844	10	536,258
地区計	37	2,475	55	3,790	19	22,096	23	674,462
県計	549	53,980	764	84,848	158	331,908	250	6,857,367
県計に占める 地区計の割合	6.74	4.59	7.20	4.47	12.03	6.66	9.20	9.84

※ 令和5年2月1日時点

資料：家畜伝染病予防法第12条の4に基づく定期報告

(6) 放牧場の概要

(単位：ha、頭)

放牧場名	対象畜種	所在市町	所有者	管理者	総面積	供用牧草地面積	放牧頭数 (令和5年)
前日光牧場	乳用牛 肉用牛	鹿沼市	鹿沼市	前日光牧場 管理組合	70.0	47.0	40
栃酪大笹牧場	乳用牛	日光市	栃木県酪農業 協同組合	同 左	363.0	306.0	160
酪農とちぎ小林放牧場	乳用牛	日光市	酪農とちぎ 農業協同組合	同 左	25.0	22.0	50
日光市横川牧場	肉用牛	日光市	日光市	同 左	52.0	48.8	28
日光市上栗山牧場	肉用牛	日光市	日光市	同 左	59.8	59.8	7
日光市土呂部牧場	肉用牛	日光市	日光市	同 左	18.7	18.7	9
日光市三沢原 人工授精施設牧場	肉用牛	日光市	日光市	同 左	10.0	10.0	5
日蔭三本檜牧場	肉用牛	日光市	日蔭和牛 改良組合	同 左	61.5	40.8	利用自粛

※ 令和6年3月時点

栃木県畜産振興課調べ

(7) 水産(漁船の登録状況)

市町村名	登録漁船数
日光市	52

※ 令和6年3月時点

上都賀農業振興事務所調べ

4 農産物等認証状況

(1) とちぎの地産地消推進店認定及び登録状況

① 料理店

登録日	申請店舗	申請者氏名	住所	電話番号	地産地消メニュー
平成23年8月1日	炭火焼肉おおつか	大塚 進	鹿沼市西茂呂3-52-12	0289-60-7530	とちぎ和牛霜降セット、 トマトサラダ
平成23年8月1日	小百田舎そば	我妻 一巳	日光市小百167	0288-21-7232	そば、天ぷら
平成23年8月1日	小代行川庵	矢野 利夫	日光市小代371	0288-27-3535	もりそば、にらそば、 そばだんご
平成23年8月1日	観世音そば下の家	半田 耕一	日光市岩崎1032-5	0288-27-3000	そば、季節のてんぷら、 そばゼリー
平成23年12月1日	日光のイタリアン トライフル	高島 弘和	日光市土沢1538-4	0288-25-7448	ミネストローネ、日光トマト サラダ、日光唐辛子の辛いト マトソースパスタ等
平成24年1月1日	AN-RIZ-L' EAU アンリロ	上村 真巳	鹿沼市上材木町1684	0289-62-0772	アンブレート (パン、揚げ 物、おかず2種)、ドウブ レート (パスタ、サラダ) 等
平成24年1月1日	Le Perican Rouge ルペリカン ルージュ	上村 真巳	鹿沼市天神町1852-7	0289-63-0402	さつきポークのソテー、 栃木しゃもの網焼き等
平成24年6月1日	(株)あさやホテル (鬼怒川温泉あさや)	八木澤 哲夫	日光市鬼怒川温泉滝813	0288-77-1111	米、そば、 かんぴょうの味噌汁、 やしおますのカルパッチョ等
平成25年2月1日	そば処 山帰来	星野 光広	日光市南小来川395-1	0288-63-2121	もりそば十割・二八、ゆばそ ば、辛み大根おろしそば、 季節の野菜てんぷら
平成25年7月1日	かぬま手づくりの里 そば処 久我	青柳 秀男	鹿沼市上久我27-1	0289-65-8787	そば、天ぷら、にらそば
平成25年8月1日	(有)花農場あわの	若林 ふみ子	鹿沼市中粕尾423	0289-83-7787	地元産野菜のパスタ、 ハーブティ、 シフォンケーキ等
平成26年3月1日	玄そば 文石庵	齋藤 正彦	鹿沼市茂呂287-1	0289-76-0093	もりそば、舞茸の天ぷら、 舞茸汁そば、 にらアトにらそば
平成27年7月1日	鬼怒川温泉ホテル 石窯ダイニング ・楽炎	八子 弘	日光市鬼怒川温泉滝545	0288-77-0025	サラダ、ヤシオマスの刺身 他
平成28年6月1日	株式会社三たてそば 長畑庵	柴田 尚俊	日光市長畑635-1	0288-27-2488	もりそば、ざるそば、 かけそば
平成29年6月1日	中禅寺金谷ホテル	増子 陽	日光市中宮祠2482	0288-51-0002	栃木県産グリーンアスパラと那須ど り春野菜添えクリームスープと粒マ スターソース
平成29年7月1日	ペンション トロールの森	渡邊 良明	日光市所野1541-1395	0288-53-1007	ニジマスの和風ムニエル、 ヤマメのカラ揚げ、 栃木県もち豚のソテー
平成29年7月1日	里山カフェ chiki	沼尾 富二夫	鹿沼市下沢554	0289-78-4873	スープ、サラダ、キッシュ (ほーれん草、ズッキーニ、 カボチャetc.)
平成29年7月1日	おこんにやく茶屋	大島 由紀	鹿沼市銀座1-1870-1	0289-60-6070	こんにやくメニュー
平成29年7月1日	民宿 しんこう苑	吉原 徳	日光市木和田島2112-7	0288-26-0817	ゆめポークのトンカツ 鮎の塩焼き (イワナ)
平成29年8月1日	ペンション はじめのいっぽ	波多江 定夫	日光市所野1541-2371	0288-53-2122	和豚もちぶたのしゃぶしゃ ぶ、ニジマスの塩焼き、 ムニエル、野菜の煮物
平成29年8月1日	日光くじら食堂	上野 秀幸	日光市久次良町238-6	0288-53-2206	ふわとろたまごのオムライス、日 光産ニラ入り和風かぼちゃ、野 菜たっぷり和風パスタ
平成29年8月1日	イル・プラート	齋藤 貴生	日光市木和田島1373-290	0288-32-2332	木の子のリゾット、 野菜のパスタ

登録日	申請店舗	申請者氏名	住所	電話番号	地産地消メニュー
平成29年8月1日	メープル レストラン	福田 政行	日光市中宮祠2482	0288-55-0713	とちぎ和牛ビーフシチュー、ヒメマスのムニエル
平成29年9月1日	カフェ サロン・ド・テ・オカ	福田 純一	日光市鬼怒川温泉滝525	0288-77-0657	大田原産牛ハンバーグ、日光霧降高原牛ビーフカレー
平成29年9月1日	ペンション 森のうた	鈴木 義成	日光市久次良町100	0288-53-0465	栃木県産食材を使用した「フルコースメニュー」
平成29年10月1日	自然茶寮 廻	山口 雅宏	日光市中鉢石町909-1	080-9343-0831	汲み上げ生ゆば包みごはん 有機栽培トマトとアボガドのユッケ風ごはん
平成30年12月1日	仲まち家	小林 一三	鹿沼市仲町1604-1	0289-62-7550	和牛カレーライス
平成30年12月1日	キッチン七	小林 一三	鹿沼市仲町1604-1	0289-62-7550	かぬまそば粉のガレット、かぬまコロッケ、かぬまメンチ
令和元年6月1日	鬼怒川プラザホテル	庄田 哲康	日光市鬼怒川温泉滝530	0288-76-1031	しゃぶしゃぶ野菜、日光湯波しゃぶ、桜山豚角煮
令和2年10月1日	TRATTORIA IL DADO	神山 純一	鹿沼市西茂呂3-2-2	0289-78-0285	もち豚料理、栃木県産牛肉料理、鹿沼産トマトのパスタ
令和2年10月1日	R o b a c i c a (ロバシカ)	大島 英昌	鹿沼市銀座1-1878 イヤノビル1階	070-2169-4069	県産の野菜を使用した炉端焼き
令和2年10月1日	けっこう漬本舗 森友バイパス店	福田 徹	日光市森友838-1	0288-22-9191	そば、天ぷら
令和2年10月1日	けっこう漬本舗 今市インター店	福田 徹	日光市平ヶ崎390-2	0288-22-3197	そば、天ぷら
令和3年7月1日	鬼怒川 グランドホテル 夢の季	波木 恵美	日光市鬼怒川温泉 大原1021	0288-77-1313	しゃぶしゃぶ、天ぷら、湯波等
令和3年10月1日	ザ・リッツ・ カールトン 日光	早坂 心吾	日光市中宮祠2482	0288-25-6666	海老原ファームのグリーンサラダ、大滝日光サモン押し寿司、足利マル牛のロースト
令和3年10月1日	静寂とまごころの宿 七重八重	奥村 徳三郎	日光市鬼怒川温泉 大原1060	0288-77-2222	霧降高原牛又はとちぎゆめボウルのしゃぶしゃぶ、干瓢とサモンの日光湯波巻サラダ
令和3年11月1日	日光千姫物語	根元 芳彦	日光市安川町6-48	0288-54-1010	とちぎ和牛のしゃぶしゃぶ、とちぎ和牛のステーキ、とちぎ和牛の湯波つつみ焼き
令和4年1月1日	近江屋	大貫 譲	鹿沼市深程472-1	0289-85-2537	豚ロースステーキ定食、ロースとんかつ定食、豚の生姜焼き定食
令和5年1月1日	日光金谷ホテル	丸山 真人	日光市上鉢石1300	0288-54-0001	日光虹鱈のソテー 金谷風
令和5年1月1日	鬼怒川パークホテルズ	小野 真	日光市鬼怒川温泉 大原1409	0288-77-1289	とちぎ和牛三種食べ比べ陶板焼き、桜山豚と野菜の陶板焼き、那須地鶏と野菜の陶板焼き
令和5年9月1日	そば処 やしお庵	北岡 隆史	鹿沼市入粟野994-2	0289-86-7666	天もりそば(うどん)、にらそば(うどん)、カレーライス、牛井、みそおでん
令和5年9月1日	Trattoria Gigli (トットリア ジッリ)	竹谷 茂樹	日光市松原町10-11	0288-28-9028	湯波のカレーゼ、キノコのガスマリネ、HIMITSU豚のロースト、ハニヤカダ
令和5年9月1日	西洋料理 明治の館	宇井 大悟	日光市山内2339-1	0288-53-3751	特選とちぎ和牛サロインステーキ、テイクアウトステーキ、日光HIMITSU豚のソーゼージとベーコン盛り合わせ 他
令和5年9月1日	カフェレストラン ふじもと	宇井 大悟	日光市山内2339-1	0288-53-3751	日光湯波のオムライス、まいたけとHIMITSU豚ベーコンの玄米スパゲッティ 他
令和5年9月1日	ステーキハウス みはし	宇井 大悟	日光市上鉢石町1115	0288-54-3429	特選とちぎ和牛サロインステーキ、テイクアウトステーキ、日光HIMITSU豚のソーゼージとベーコン盛り合わせ 他
令和5年9月1日	霧降高原 山のレストラン	宇井 大悟	日光市所野1546	0288-50-1525	霧降高原牛の冷製ローストビーフ、日光産ニギマスのチーズ焼き 他

※ 令和6年3月末時点

とちぎの地産地消推進店登録要領 平成23年7月18日制定

② 菓子店

登録日	申請店舗	申請者氏名	住所	電話番号	地産地消メニュー
平成28年4月1日	清流の郷かすおアイス部	須藤 博子	鹿沼市下粕尾1308-1	0289-83-0012	ジェラート(小豆、芋、ゆずリゾット、いちご、はと麦等)
平成30年8月1日	カフェ・アウル【四代目氷屋徳次郎】	山本 仁一郎	日光市所野1535-4	0288-54-3355	かき氷(イチゴ、ブルーベリー、ゆず等)
令和2年3月1日	高級食パン専門店プライヴォリー	更家 友美	日光市今市本町11-4-105	0288-25-6910	サラ・ブレッド、大麦ブレッド、全粒粉ブレッド

※ 令和6年3月末時点

とちぎの地産地消推進店登録要領 平成23年7月18日制定

③ 小売店

登録日	申請店舗	申請者氏名	住所	電話番号	主な取扱い県産農産物
平成25年4月1日	株式会社カスミ鹿沼店	鈴木 基之	鹿沼市栄町2-15-1	0289-65-6074	にら、いちご、ほうれんそう等
平成25年11月1日	株式会社ベイシア今市モール店	内山 郁郎	日光市芹沼字石神殿1470-1	0288-21-1111	いちご、生しいたけ、ほうれんそう等
平成26年9月1日	(株)たいらや今市店	小川 弥	日光市今市1228-1	0288-22-8118	ほうれんそう、生しいたけ、ねぎ等
平成26年12月1日	イオンリテール株式会社イオン今市店	沼尾 大路	日光市豊田79-1	0288-30-2000	ほうれんそう、生しいたけ、ねぎ等
令和2年1月1日	ヨークベニマル鹿沼店	真船 幸夫	鹿沼市西茂呂2-23-7	0289-63-1133	白菜、きゅうり、ピーマン、生しいたけ(菌床)、洗い里芋等
令和2年1月1日	ヨークベニマル鹿沼上殿町店	真船 幸夫	鹿沼市上殿町字百目鬼929-4	0289-60-7000	舞茸、生しいたけ、里芋、にら、なす、きゅうり等
令和2年1月1日	ヨークベニマル鹿沼睦町店	真船 幸夫	鹿沼市睦町287	0289-60-1765	長ねぎ、小松菜、だいこん、にら、ブロッコリー等
令和2年9月1日	かましん日光ランドマーク店	若井 禎彦	日光市今市412-1	0288-30-1133	いちご、にらそば、季節の生寿司、ニラ四元豚の豚カツ弁当等
令和2年9月1日	かましん日光森友店	若井 禎彦	日光市森友789	0288-30-1131	いちご、にらそば、ニラ四元豚の豚カツ弁当等
令和4年10月1日	ヨークベニマル千渡店	真船 幸夫	鹿沼市千渡1842	0289-60-8555	野菜類、米

※ 令和6年3月末時点

とちぎの地産地消推進店登録要領 平成23年7月18日制定

(2) 栃木県特別表示認証食品認証状況 (Eマーク)

品 目	商 品 名	製造者 (又は販売者)	市 町 名	認証年月			
ジャム類	イチゴジャム	福田農園	日光市	平成11年9月			
	ブルーベリージャム			平成11年9月			
	リンゴジャム			平成11年9月			
	ウメジャム			平成11年9月			
	なつおとめジャム	T・N・Bファーム株式会社	鹿沼市	平成29年7月			
	とちおとめ			平成30年1月			
	まるっととちおとめ TOCHIOTOME JAM			令和3年1月			
	いちごの瞬間 (いちごジャム)			令和4年5月			
	いちごの瞬間 (いちごミルクの素)			令和4年5月			
	いちごの瞬間 (いちごジャム) ※スカイベリー使用			令和4年5月			
	梅の旋律 (梅ジャム)			令和4年5月			
	ブルーベリーの衝撃 (ブルーベリージャム)			令和4年5月			
	ハム類			ロースハム	有限会社 山中商店	日光市	平成23年3月
	ソーセージ			ポークウィンナー	有限会社 山中商店	日光市	平成23年4月
フランクフルトソーセージ		平成23年4月					
ベーコン類	ベーコン	有限会社 山中商店	日光市	平成23年3月			
乾燥果実	いちごの瞬間 (フリーズドライ) ※8個入り	T・N・Bファーム株式会社	鹿沼市	令和4年5月			
	いちごの瞬間 (フリーズドライ) ※12個入り			令和4年5月			
	とき 瞬間をとめた苺			令和4年5月			
コンポート	まるっととちおとめ	T・N・Bファーム株式会社	鹿沼市	平成27年12月			
	まるっとなつおとめ			平成29年7月			
	いちごの瞬間 (なつおとめコンポート)			令和4年5月			
清 酒	純米吟醸 鹿沼娘	株式会社小林酒店	鹿沼市	平成30年11月			

※ 令和6年3月末時点

栃木県特別表示食品認証要綱 平成6年4月1日制定

5 田園風景百選認定状況

鹿沼市	板 荷	鹿沼市の北部に位置する板荷。緑豊かな山々に囲まれた農村集落です。地域の中央を清流黒川が流れ、川の水を引き込んで造られた天然のせせらぎプールでは、夏になると子どもたちの元気な声が響き渡ります。
	亀 和 田	鹿沼市の南部に位置する亀和田。思川の東には平坦な農地が広がり、稲作を中心にイチゴ、ニラなどの施設園芸が盛んです。また、飼料用米の栽培が行われるなど、水田の有効活用が図られています。
	見 野	足尾山地の麓にあり、黒川と行川に挟まれた扇状地にある田園地帯にある見野。古くは日光山領66郷のひとつ“美濃郷”といわれていました。一度途絶えた伝統芸能「見野囃子蓮」が復活し、地域の結びつきを強めています。
	入 粟 野	鹿沼市の西に位置する入粟野。こんにゃくやそばの生産が盛んで、地域住民で手入れされた彼岸花の群生もあります。清流粟野川をさかのぼるにつれて険しくなる山並みには、水量豊かな川の音がとどろきます。
	中 粟 野	足尾山地の麓にある鹿沼市 中粟野。清流粟野川沿いにある自然豊かなこの地域では、米とそばの栽培が盛んに行われ、秋には周りの山々を背景に、黄金色に染まった稲と白いそばの花が一面に広がります。
	中 粕 尾	足尾山地地蔵岳を源とする思川の上流にある鹿沼市 中粕尾。緑の山々や清らかに澄んだ川の流れは、訪れる人々の心を慰めてくれます。毎年6月には、無数のホタルが夜空に飛び交い、幻想的な世界が広がります。
日光市	永 野	百川溪谷を源流とした永野川沿いにある集落、鹿沼市 永野。この地域は現在も日本一の麻の生産量を誇り、国産最高品質の「野州麻」として全国に知られています。また、古くからのそば処としても有名です。
	大 室	日光市今市の市街地の東にある集落 大室。“前山”からは、日光連山を背に大室ダムと静かな農村風景が一望できます。北東部にある“大山”の湧き水は、山の麓に鎮座する大室たかお神社を通り集落内を潤しています。
	小 百	日光市今市の市街地の北に位置する日光市小百。西側には板穴川、中央には小百川が流れる自然あふれる集落です。村おこしによるそば組合が設立され、地粉を使った「小百田舎そば」として人気を博しています。
	瀬 川	日光市今市の中心部近くに位置する日光市 瀬川。中禅寺湖を水源とする大谷川が流れており、農業用水や飲料水として使われています。豊かな自然を活かした日光だいや川公園では、多くの家族連れなどに利用されています。
	瀬 尾	日光市今市の市街から北西に位置する瀬尾。霧降高原道路を進むと広大な牧草地帯「大笹牧場」が広がっています。夏に見られる雲海や秋の紅葉など、この牧場からは四季折々の見事な展望を望むことができます。
	森 友	日光市今市の市街地からおおよそ2kmにある森友は日光街道沿いの集落です。ここには長さおおよそ4m、重さ300kgにもおよぶ県内で最大のしめ縄をもつ森友瀧尾神社があり、縁結び・安産を祈願する多くの参拝者が訪れます。
	南小来川	日光市の南部に位置する南小来川。山姿が美しく板荷富士とも呼ばれる笹目倉山の麓にある集落です。谷あいの溪谷には清流黒川が流れ、春には新緑、秋には紅葉の美しい風景が作りだされます。
	土 呂 部	県北西部にある山間の集落、日光市 土呂部。国立公園内にあり、森林や溪谷などの美しい自然景観に恵まれ、水芭蕉の群生地など観光客の目を楽しませています。また、昔から和牛の飼育が盛んで、多くの放牧場があります。
野 門	鬼怒川の上流にある山間の集落、日光市 野門。平家落人伝説が語り継がれるこの地域では「平家高原民宿村」として村おこしが進められ、多くの民家が民宿を営んでいます。山深い風情を味わいに、毎年多くの観光客が訪れます。	
藤 原	県北西部の山岳地帯にある日光市 藤原。川治温泉や龍王峡がある観光地でもあります。鶏頂山を中心とする高地では、夏でも冷涼な気候を活かしたほうれんそう、だいこん等が栽培されています。	

6 6次産業化総合計画認定状況

事業名	事業の概要	申請者	認定日
自家生産した安全、安心な和牛の直売事業	もと牛生産から肥育した黒毛和牛を活用して、精肉から直売までを行い経営の安定化を図る。	横尾 武男 (鹿沼市)	平成25年 5月31日
自家生産玄そばを使用した「日光鶴亀手打ち蕎麦生麺」と「日光鶴亀蕎麦プリン」の開発及び販売事業	自ら生産した玄そば活用し、「そば生麺」と「そばプリン」の開発・販売を行う。また、新たに3期作に取り組み、玄そば生産性向上を図るとともに、「日光そば」のブランド力向上及び地域の活性化を図る。	半田 耕一 (日光市)	平成29年 3月31日
ヤシオマスの未利用部位を用いた新商品の開発・加工・販売事業	ヤシオマスの従来活用しきれいでいなかった廃棄部位を有効活用することにより、新商品を開発・加工・販売することで、収益の向上を図りつつ、環境保全に寄与する。	(有)大滝 (日光市)	平成30年 3月30日

7 農業制度資金融資（貸付）状況

(単位：件、千円)

資金区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
(1) 農業近代化資金	38	214,160	47	235,300	38	177,850
構築物造成資金	10	95,940	20	100,170	14	66,960
農機具等取得資金	26	104,220	26	129,130	24	110,890
果樹等植栽育成資金	-	-	-	-	-	-
家畜購入育成資金	2	14,000	1	6,000	-	-
小土地改良資金	-	-	-	-	-	-
農村環境整備資金	-	-	-	-	-	-
大臣特認資金	-	-	-	-	-	-
長期運転資金	-	-	-	-	-	-
(2) 就農支援資金	-	-	-	-	-	-
就農研修資金	-	-	-	-	-	-
就農準備資金	-	-	-	-	-	-
就農施設等資金	-	-	-	-	-	-
(3) 日本政策金融公庫資金	21	332,750	355 [※]	9,658,151 [※]	362 [※]	3,184,280 [※]
農業改良資金	-	-	-	-	1 [※]	3,700 [※]
農業経営基盤強化資金（スーパーL）	13	267,940	177 [※]	6,791,100 [※]	133 [※]	7,383,750 [※]
経営体育成強化資金	-	-	10 [※]	288,960 [※]	5 [※]	147,010 [※]
農林漁業セーフティネット資金	-	-	12 [※]	1,294,400 [※]	71 [※]	4,096,000 [※]
青年等就農資金	8	64,810	69 [※]	629,290 [※]	68 [※]	631,249 [※]
農業基盤整備資金	-	-	79 [※]	459,301 [※]	79 [※]	527,691 [※]
農林漁業施設資金	-	-	6 [※]	88,000 [※]	3 [※]	133,880 [※]
特定農産加工資金	-	-	1 [※]	104,000 [※]	2 [※]	261,000 [※]
災害（農業基盤）	-	-	1 [※]	3,100 [※]	-	-
(4) 災害資金	-	-	-	-	-	-
天災資金	-	-	-	-	-	-
災害条例資金	-	-	-	-	-	-

※（3）日本政策金融公庫資金の件数・金額については、平成3年度から県全体の件数、金額を掲載

8 農漁業災害及び農地・農業用施設災害の発生状況

(1) 農産物、生産施設等

(単位：ha、千円)

災害発生日及び内容	市町名	区分	作物名等	被害面積	被害金額	
降雹・強風 (令和5年7月10・11日)	鹿沼市	農産物	もも	0.2	555	
			りんご	1.75	3,964	
		施設	被害なし	-	-	
強風 (令和6年2月27日)	日光市	農産物	にら	0.065	168	
		施設	パイプハウス	0.34	1,623	
合 計				農産物	2.015	6,310
				施設	0.34	1,623
				合計	2.355	7,933

※ 令和6年3月末時点

(2) 農地、農業用施設等

(単位：千円)

災害発生日及び内容	地区及び箇所番号	区分及び工種等	申請額	査定額	査定率
被害なし	-	-	-	-	-
合 計			-	-	-

※ 令和6年3月末時点

9 放射性物質検査結果

(1) モニタリング検査結果 (令和5年度)

分 類	検査点数	基準値 超過点数	最大値 (Bq/kg)
野 菜 類	1	0	測定下限値未満
山菜類 (栽培)	2	0	測定下限値未満
米	1	0	測定下限値未満
秋 そ ば	1	0	測定下限値未満
大 豆	1	0	14
合 計	7	0	

(市町村別内訳)

分 類	鹿 沼 市			日 光 市		
	検査 点数	基準値 超過点数	最大値 (Bq/kg)	検査 点数	基準値 超過点数	最大値 (Bq/kg)
野 菜 類	1	0	測定下限値未満	0	0	-
山菜類 (栽培)	1	0	測定下限値未満	1	0	測定下限値未満
米	0	0	-	1	0	測定下限値未満
秋 そ ば	1	0	測定下限値未満	0	0	-
大 豆	0	0	-	1	0	14
合 計	3	0		3	0	

(2) 農業振興事務所が行う検査 (令和5年度)

分 類	検査点数	備 考
農 産 物 等	0	安全確認
土壌・堆肥等	83	生産条件検査
調 査 研 究	0	技術確立
合 計	83	

10 米の需給調整状況（令和5年度）

項目	単位	鹿沼市	日光市
対象農業者数	人	3,624	2,724
総水田面積	ha	3,790	4,082
栃木県からの需要量に関する情報（面積換算値）	ha	1,725	2,060
水稻作付面積	ha	2,438	2,713
うち主食用米作付面積	ha	1,750	1,791
作付率（主食用米作付実績 / 総水田面積）	%	46	45
差し引き面積（需要量－作付実績）	ha	-25	269

11 農業団体、農業公社等の概要

（1）上都賀農業協同組合（令和4事業年度）

（単位：人、戸）

区分	正組合員数 (A)	正組合員戸数 (B)	准組合員数 (C)	組合員総数(D) D=A+C	役員数		職員数		本・支店数
					理事	監事		営農指導員	
上都賀農協	9,282	7,895	7,024	16,306	20	6	324	22.89	6
県計	95,755	79,915	75,407	171,162	260	67	3,577	271	
1組合平均	9,576.0	7,992.0	7,541.0	17,116.0	26.0	7.0	357.7	27.1	

資料：JAかみつが 第24回通常総代会資料
令和4事業年度農業協同組合一斉調査

（2）市町農業公社

項目	公益財団法人鹿沼市農業公社	一般財団法人日光市農業公社
設立年月日	昭和49年12月24日	平成8年4月10日
基本財産	3,000万円	3,000万円
役員数	評議員 7名 理事長 1名 副理事長 2名 常務理事 1名 理事 5名 監事 2名	評議員 6名 代表理事 1名 常務理事 1名 理事 5名 監事 2名
職員数	4名	4名
主な実施事業	1 農地利用集積円滑化事業 2 農作業受委託等推進事業 3 耕作放棄地対策事業 4 新規就農者支援事業 5 農業への理解促進と将来の担い手確保促進事業 6 循環型社会形成事業 7 機械施設のリース事業	1 農地集積推進事業 2 農作業受委託推進事業 3 農業用施設の管理運営事業 4 地域特産物の研究開発・商品化事業 5 営農集団・農業生産法人育成事業 6 農業用機械・施設共同利用推進事業 7 地域営農体制整備推進事業 8 農業者研修事業

※ 令和6年4月1日現在

(3) 公設地方卸売市場

項 目		鹿沼市公設地方卸売市場			
所 在 地		鹿沼市茂呂1889			
開 設 者		鹿 沼 市			
開 設 年 月		昭和51年10月			
施設概要	施設面積	31,955㎡			
	卸売場面積	4,400㎡			
取扱品目の部類及びその取扱品目		青果物：野菜、果実及びこれらの加工品 水産物：生鮮水産物及びこれらの加工品			
卸 売 業 者 等	卸売業者名		鹿沼総合食品卸売株式会社		
	取扱品目別数量	区 分	委託販売	買付販売	計
		野 菜	1,200t	267t	1,467t
		果 実	78t	17t	95t
		青果加工品	-	-	-
		水 産	-	109t	109t
		その他	-	-	-
		計	1,278t	393t	1,671t
	買受 人	仲卸業者	-	-	-
		小売業者	59人	-	-
		仲買業者	-	-	-
		加工業者	2人	-	-
		他市場の卸売業者	-	-	-
その他		28人	-	-	
計		89人	-	-	
買受人組合名		鹿沼青果水産小売商業協同組合			

※ 令和5年3月31日現在

資料：基礎情報 地方卸売市場実態調査表（令和4年度(令和5年3月31日現在)）

実績 運営状況報告書及び事業報告（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

12 ライスセンター・ントリーエレベーター等設置状況

(1) 米麦用

経営主体	設置年度	構成人数	施設概要				処理能力				事業名
			乾燥機形式	規模	DS	バラ出荷施設	面積		処理量		
							米 (ha)	麦 (ha)	米 (t)	麦 (t)	
酒野谷営農改善組合 (下日向営農改善組合)	S49	32	サタケMD テンパリング 方式	30石 6基		有り	36	18	151	64	第2次農業構造 改善事業
楡木町営農改善組合	S63	19		50石 6基		有り	35	30	184	84	県単水田農業確立対 策特別事業
野沢町営農改善組合	S59	5	サタケ 循環式	38石 2基 33石 1基		有り	21	10	92	37	新農業構造改善 事業
武子第一営農改善組合	S59	4	サタケ 循環式	33石 2基		無し	20	15	84	51	新農業構造改善 事業
見野営農改善組合	S60	5	サタケ 循環式	28石 2基 16石 1基 50石 1基		有り	28	18	126	48	新農業構造改善 事業
磯町営農組合	S62	19	シズオカ	33石 4基 60石 1基		有り	30	12	126	46	農業生産体質強化総 合推進対策事業
池ノ森営農組合	S63	8	サタケ	50石 3基		有り	25	18	120	64	県単水田農業確立対 策特別事業
大室農業生産組合	S60	8	サタケ	3.3t 6基		有り	35	20	168	72	新地域農業生産総合 振興対策事業
上都賀農業協同組合 (日光営農経済センター)	H3	-	クボタ	40t 5基 計 2,700t	○	-	360	150	1,656	540	農業生産体質強化総 合推進対策事業
鹿沼市	H5 H25 増築	-	サタケ	45t 4基 計 2,000t		有り	350	-	1,495 1,504	-	先進的農業生産総合推 進対策事業、強い農業づく り交付金
上都賀農業協同組合 (南部営農経済センター)	H9	-	サタケ	45t 3基 計 2,000t		有り	350	-	1,987	-	農業生産体質強化総 合推進対策事業
イーストファーム小林	H15	48	山本	50NXFR 3基 50AXDR 1基		有り	47	大豆 14	305	大豆 33	首都圏農業パワー アップ推進事業

※ 設置時点

(2) 豆類・雑穀用

経営主体	設置年度	構成人数	施設概要				処理能力			事業名
			乾燥機形式	規模	DS	バラ出荷施設	品目名	面積 (ha)	処理量 (t)	
鹿沼市農業公社	H20	-	流下式	50t 6基	-	-	大豆 ハトムギ	56 70	100 106	強い農業づくり事業 (競争力強化生産総 合対策)
上都賀農業協同組合 (日光営農経済センター)	H20	-	山本、 サタケ	-	-	-	そば	149	110	強い農業づくり事業 (競争力強化生産総 合対策)

※ 設置時点

(3) 飼料用米

経営主体	設置年度	構成人数	施設概要				処理能力			事業名
			乾燥機形式	規模	DS	バラ出荷施設	品目名	面積 (ha)	処理量 (t)	
亀和田・北赤塚 営農組合	H21	11	山本	6t 3基	-	-	飼料用米	42	315	農山漁村活性化プロ ジェクト支援交付金

※ 設置時点

13 農産物直売所、農村レストラン等設置状況

(1) 農産物直売所

市町名	施設名	営業時間	定休日等	住所／電話
鹿沼市	JAかみつが 奈佐原直売所	9:00～16:45	年末年始	〒322-0528 奈佐原526 ／0289-75-3311
	野尻直売所	9:00～18:00 (3～10月) 9:00～17:30 (11～2月)	月曜日(祝日の場合営業) 8/14～16、12/31～1/7	〒322-0251 野尻285-4 ／0289-63-4418
	清流の郷かすお	9:00～16:00 (平日) 9:00～16:30 (土日・祝日)	火曜日(祝日の場合営業) 年末年始	〒322-0421 下粕尾1308-1 ／0289-83-0012
	やしお庵 ふる里産物直売所	10:00～15:30	火曜日、12/29～1/3	〒322-0307 入粟野994-2 ／0289-86-7666
	まちの駅 新・鹿沼宿 物産館	9:00～18:00	1/1～1/2	〒322-0053 仲町1604-1 ／0289-60-2507
	鹿沼特産物販売所	8:30～17:00	7～2月の木曜日 年末年始	〒322-0026 茂呂2086-1 ／0289-76-2310
日光市	JAかみつが 落合農産物直売所	8:00～16:00	年末年始	〒321-1105 文挾町423-3 ／0288-27-2662
	JAかみつが 大沢農産物直売所	8:00～15:00 (4～10月) 8:30～15:00 (11～3月)	年末年始	〒321-2345 木和田島1373-112 ／0288-26-3792
	JAかみつが 小林農産物直売所	8:00～16:30	年末年始	〒321-2352 小林2805-1 ／0288-26-8411
	栗山ふるさと 物産センター	9:00～16:00	水曜日、木曜日、 12～4月(冬期休業)	〒321-2712 日陰596-2 ／0288-97-1870
	くろべ茶屋	8:30～15:00	不定休、 11～9月(長期休業)	〒321-2713 黒部23-4 ／0288-97-1588
	日光ブランド 情報発信センター	9:00～17:00 (3～10月) 9:00～16:00 (11～2月)	12/31～1/5	〒321-1263 瀬川844 ／0288-25-7212
	木もれびの里 箒路 直売コーナー	9:00～16:00	木曜日、第2・4水曜日	〒321-2332 大室1610-1 ／0288-25-7041
	湯西川 水の郷	10:00～15:00	水曜日 (祝日の場合は営業、 翌日休)	〒321-2601 湯西川473-1 ／0288-98-0260
	道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣	9:00～18:00	第3火曜日	〒321-1261 今市733-1 ／0288-25-5557
	JAかみつが 森友直売所スマイル館	8:30～17:00 (3～10月) 8:30～16:00 (11～2月)	年末年始	〒321-2335 森友923-3 ／0288-25-5050

※ 令和6年3月現在

(2) 農村レストラン

市町名	施設名	内容		住所/電話
		営業時間/定休日等		
鹿沼市	【そば】 かぬま手づくりの里 そば処 久我	地元産を使った香り豊かな手打ちそば 平日 : 11:00~14:00 / 月曜日 (祝日の場合営業、 土日祝 : 11:00~14:30 翌日休)		〒322-0254 上久我27 /0289-65-8787
	【ハーブ・パスタ】 花農場あわの ミントハウス	ハーブガーデンのあるレストラン 10:00~16:00 / 火曜日		〒322-0422 中粕尾423 /0289-83-7787
	【そば】 清流の郷かすお	緑と清流の郷のレストラン 11:00~14:00 / 火曜日		〒322-0421 下粕尾1308-1 /0289-83-0012
	【そば】 鹿沼そば 大越路	鹿沼産そばとにらを合わせた「にらそば」が人気 10:30~16:00		〒322-0053 仲町1604-1 /0289-64-7958
日光市	【そば】 三たてそば長畑庵	挽きたて、打ちたて、茹でたてのそば 11:00~15:00 / 火曜日、金曜日 (祝日の場合営業)		〒321-1108 長畑635-1 /0288-27-2488
	【そば】 小百田舎そば	手づくりの田舎そば 11:00~15:00 / 月曜日、木曜日		〒321-1265 小百167 /0288-21-7232
	【そば】 小代行川庵	地元産の風味豊かなそば 11:00~15:00 / 木曜日		〒321-1107 小代371 /0288-27-3535
	【そば】 そば処 水無湧水庵	湧き水でこね上げた地粉そば 11:00~15:00 / 水曜日 (祝日の場合営業) 12/31~1/3		〒321-2334 水無309 /0288-26-3355
	【そば】 そば処 報徳庵	自家製粉した日光産の香り豊かなそばをどうぞ 11:00~15:00 / 1/1~1/3		〒321-1263 瀬川383-1 /0288-21-4973
	【そば】 木もれびの里 箒路	地元産玄そばと湧水を使用したそば 11:00~15:00 / 木曜日、第2・4水曜日		〒321-2332 大室1610-1 /0288-25-7041
	【そば・郷土料理】 湯西川 水の郷 (観光センター内食堂)	名物の手打ちそばや湯西川の郷土料理 11:00~15:00 / 水曜日 (祝日の場合営業、翌日休)		〒321-2601 湯西川473-1 /0288-98-0260

※ 令和6年3月現在

(3) 加工体験施設

市町名	団体名	内容		住所/電話
		営業時間/定休日等		
鹿沼市	かぬま手づくりの里 運営委員会	そば打ち体験 要予約		〒322-0254 上久我27-1 /0289-65-8787
	花農場あわの	リース、フラワーアレンジ、コースター、しおり体験 要予約		〒322-0422 中粕尾423 /0289-83-7787
日光市	みよりふるさと体験村 センター	そば打ち体験 要予約 / 1~3月		〒321-2803 中三依407-1 /0288-79-0031
日光市	湯西川 水の郷	そば打ち体験 10:00~15:00 ※要予約 / 水曜日		〒321-2601 湯西川473-1 /0288-98-0260
	岩崎そば生産組合 農業体験部	そば打ち体験 9:00~13:00 ※要予約 / 1~6月		〒321-1104 岩崎1292-1 /0288-27-3000

※ 令和6年3月現在

(4) 市民農園

市町名	名称	区画数/1区画面積	申込時期/利用期間	問い合わせ
日光市	日光市民農園	62/約20㎡	4月/1年間(4~3月) ※更新可	(一財)日光市農業公社 /0288-22-7770

14 各種地域指定等一覧

(1) 地域指定

区 分	鹿 沼 市	日 光 市	根 拠 法	要 件 等
振興山村地域	板荷村、西大芦村、加蘇村、栗野町、永野村、粕尾村	日光町、小栗川村、足尾町、栗山村、三依村、藤原町	山村振興法	旧農業センサス規則に基づく林業調査の結果による旧市町村（昭和25年2月1日現在）の区域に係る林野率が75%以上でかつ人口密度が1町村当たり1.16人未満
過疎地域	-	日光市、足尾町、栗山村、藤原町	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法	①人口要件（人口減少率かつ高齢者比率又は若年者比率による） ②財政力要件（財政力指数、公営競技収益による）
辺地整備（地区数）	5地区	15地区	辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律	①当該地域の中心を含む5㎢以内の面積の中に50人以上の人口を有すること。 ②辺地度点数が100点以上であること。
日本政策金融公庫法に定める中山間地域	板荷村、西大芦村、加蘇村、栗野町	旧日光市、足尾町、藤原町、栗山村	株式会社日本政策金融公庫法第11条第1項の規定に基づく財務省・農水省告示	
特定農山村法に関わる中山間地域	板荷村、西大芦村、加蘇村、栗野町、永野村、粕尾村、清洲村	日光町、小栗川村、足尾町、栗山村、三依村、藤原町	特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律	地理的条件が悪く、生産条件が不利な地域で主務大臣が公示 ①勾配1/20以上の田面積が全面積の50%以上 ②勾配15度以上の畑面積が全畑面積の50%以上 ③林野率75%以上 （①～③のいずれかに該当） ④15才以上人口に対する農林業従事者数の割合が10%以上、または総土地面積に対する農林地割合81%以上 ⑤人口10万人未満
農林統計に用いる「農業地域類型」の中(山)間農業地域	中間農業地帯：あり 山間農業地域：あり	中間農業地帯：あり 山間農業地域：あり	農林水産統計観測審議会農林水産統計総合部会決定（平成2年9月）（平成29年改定）	【中間農業地帯】 ①耕地率が20%未満で、「都市的地域」及び「山間農業地域」以外の旧市町村 ②耕地率が20%以上で「都市的地域」及び「平地農業地域」以外の旧市町村 【山間農業地域】 林野率80%以上かつ耕地率10%未満の旧市町村

※ 令和4年度時点

資料：令和5(2023)年度栃木県農業白書

(2) 野菜指定産地

種 別	指定産地名	指定年月日	該 当 市 町	備 考
夏だいこん	栃木県北高冷地	昭和41年8月18日	日光市、那須塩原市、塩谷町	区域拡大：平成17年2月18日
冬春トマト	鹿 沼	平成3年8月26日	鹿沼市 栃木市（旧西方町）	区域拡大：平成15年2月18日
ほうれんそう	日 塩	昭和48年12月20日	日光市、那須塩原市、塩谷町、那須町	区域拡大：平成25年5月7日

15 補助事業等実施状況

(1) 補助事業(非公共)(令和5年度)

国庫/県単	事業名	細事業名	市町名	事業主体	事業内容	事業費(円)	補助金額(円)
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(農業委員会交付金)	鹿沼市	鹿沼市農業委員会	農業委員会事務局職員費	32,836,231	4,807,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(農業委員会交付金)	日光市	日光市農業委員会	農業委員会事務局職員費	8,385,612	4,371,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(農地利用最適化交付金)	鹿沼市	鹿沼市農業委員会	実質化された人・農地プランに係る活動、担い手への農地集積・集約化の推進活動、遊休農地の発生防止・解消活動に関する経費	9,066,134	7,746,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(農地利用最適化交付金)	日光市	日光市農業委員会	実質化された人・農地プランに係る活動、担い手への農地集積・集約化の推進活動、遊休農地の発生防止・解消活動に関する経費	3,122,058	3,037,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(機構集積支援事業費交付金)	鹿沼市	鹿沼市農業委員会	農地等の台帳の整備、農地の有効利用を図るための支援事業に関する経費	1,439,101	1,439,101
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(機構集積支援事業費交付金)	日光市	日光市農業委員会	農地等の台帳の整備、農地の有効利用を図るための支援事業に関する経費	2,582,238	2,549,000
国庫	日本型直接支払事業	中山間地域等直接支払事業費(中山間地域等直接支払交付金)	鹿沼市	鹿沼市	中山間地域等直接支払交付金(1協定)	2,862,498	2,146,872
国庫	日本型直接支払事業	中山間地域等直接支払事業費(中山間地域等直接支払交付金)	日光市	日光市	中山間地域等直接支払交付金(11協定)	16,862,710	11,365,617
国庫	日本型直接支払事業	中山間地域等直接支払事業費(中山間地域等直接支払推進交付金)	鹿沼市	鹿沼市	中山間地域等直接支払推進交付金(事務費)	29,000	29,000
国庫	日本型直接支払事業	中山間地域等直接支払事業費(中山間地域等直接支払推進交付金)	日光市	日光市	中山間地域等直接支払推進交付金(事務費)	20,000	20,000
国庫	農業人材力育成総合対策事業	農業次世代人材投資事業費(経営開始型)	鹿沼市	鹿沼市	農業次世代投資資金の交付	15,084,000	15,084,000
国庫	農業人材力育成総合対策事業	新規就農者育成総合対策事業費(経営開始資金)	鹿沼市	鹿沼市	就農直後の経営確立に資する経営開始資金の交付	9,800,000	9,800,000
国庫	農業人材力育成総合対策事業	新規就農者育成総合対策事業費(経営発展支援事業費)	鹿沼市	鹿沼市(交付対象者2名)	経営発展に必要な機械・施設の導入支援	11,982,909	7,538,000
国庫	農業人材力育成総合対策事業	産地サポート体制構築事業費(研修農場整備)	鹿沼市	鹿沼市いちご・にら新規就農者支援対策協議会	農業団体等の伴走機関が行う実践的な研修農場の整備(研修用ハウス3棟)	5,401,682	2,455,000
国庫	新規就農者確保緊急対策事業(R4繰越)	新規就農者育成総合対策事業費(初期投資促進事業)	鹿沼市	鹿沼市(交付対象者1件)	就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入支援	6,182,282	3,750,000
国庫	新規就農者確保緊急円滑化対策事業	新規就農者育成総合対策事業費(経営開始支援資金)	鹿沼市	鹿沼市	就農直後の経営確立に資する経営開始資金の交付	750,000	750,000
国庫	環境保全型農業直接支払事業	環境保全型農業直接支払交付金	鹿沼市	鹿沼市	環境保全型農業直接支払交付金の交付(1,239a)	1,465,200	1,098,900
国庫	環境保全型農業直接支払事業	環境保全型農業直接支払交付金	日光市	日光市	環境保全型農業直接支払交付金の交付(5,714a)	3,739,800	2,804,850

国庫 / 県単	事業名	細事業名	市町名	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)
国庫	環境保全型農業直接支払事業	環境保全型農業直接支払推進交付金	鹿沼市	鹿沼市	環境保全型農業直接支払交付金の推進及び確認	39,000	39,000
国庫	環境保全型農業直接支払事業	環境保全型農業直接支払推進交付金	日光市	日光市	環境保全型農業直接支払交付金の推進及び確認	15,000	15,000
国庫	鳥獣から農作物を守る対策事業 (R4補正・R4繰越)	鳥獣被害防止総合対策事業費 (鳥獣被害防止総合対策整備事業費)	鹿沼市	鹿沼市野生鳥獣対策協議会	侵入防止柵の設置 5,216m (直営施工)	8,861,122	8,848,000
国庫	鳥獣から農作物を守る対策事業	鳥獣被害防止総合対策事業費 (鳥獣被害防止総合対策推進事業費、鳥獣被害防止総合対策整備事業費)	鹿沼市	鹿沼市野生鳥獣対策協議会	侵入防止柵の設置 3,020m (直営施工) イノシシ用箱わな及びくくりわな購入	6,528,693	6,517,000
国庫	鳥獣から農作物を守る対策事業	鳥獣被害防止総合対策事業費 (鳥獣被害防止総合対策推進事業費、鳥獣被害防止総合対策整備事業費)	日光市	日光市野生鳥獣対策協議会	侵入防災柵の設置 1,850m (直営施工)、箱わな及びくくりわなの購入、射撃研修会2回開催、鳥獣被害対策実施隊活動経費 (賃金) 等	7,692,308	6,258,000
国庫	放射性物質吸収抑制対策支援事業	-	鹿沼市	鹿沼市	塩化加里の配布施用	43,020	43,020
国庫	放射性物質吸収抑制対策支援事業	-	日光市	J A かみつが日光農産物受検組合長連絡協議会等 3 団体	塩化加里の配布施用	48,805,360	48,805,360
国庫	経営所得安定対策直接支払推進事業	経営所得安定対策直接支払推進事務費	鹿沼市	鹿沼市鹿沼市農業再生協議会	農業者戸別所得補償制度に関する推進活動や要件確認に要する経費	10,180,000	10,180,000
国庫	経営所得安定対策直接支払推進事業	経営所得安定対策直接支払推進事務費	日光市	日光市農業再生協議会	農業者戸別所得補償制度に関する推進活動や要件確認に要する経費	10,559,000	10,559,000
国庫	農地集積推進事業費	地域計画策定推進緊急対策事業 (市町推進事業費)	鹿沼市	鹿沼市	地域計画策定の事務費	390,261	390,000
国庫	農地集積推進事業費	機構集積協力金交付事業費 (機構集積協力金交付事業費)	鹿沼市	鹿沼市	機構集積交付金の交付	3,821,000	3,821,000
国庫	農地集積推進事業費	機構集積協力金交付事業費 (機構集積協力金交付事業費)	日光市	日光市	機構集積交付金の交付	9,855,600	9,855,600
国庫	県産小麦・大豆供給力強化事業費	-	日光市	J A かみつが	大豆選別機の導入	17,248,000	7,840,000
国庫	消費・安全対策交付金事業	-	日光市	J A かみつが日光養豚部会	伝染性疾病の発生予防・まん延防止	1,645,000	748,000
県単	農漁業災害対策特別措置事業	病害虫防除用農薬購入費等補助金	鹿沼市	鹿沼市	令和5(2023)年7月10・11日に発生した降雹及び強風による農業被害に関する散布農薬代金	130,460	65,230
県単	中山間地域里づくり事業	中山間地域元気創出事業費 (中山間地域実践活動支援事業費)	鹿沼市	清洲コミュニティ推進会議	鹿沼市清洲地区における都市住民との交流イベント開催支援	600,000	600,000
県単	意欲ある新規就農者の確保育成事業	産地人材育成確保事業	鹿沼市	上都賀農業業協同組合鹿沼にら部	とちぎ農業マイスターの設置等：1名	480,000	480,000
県単	植物防疫・農薬安全使用対策費	クビアカツヤカミキリ特別対策事業費 (クビアカツヤカミキリ被害拡大予防対策支援費)	鹿沼市	鹿沼市	飛散防止ネットの購入費	28,127	14,000
県単	農作物等盗難防止緊急対策事業	地域ぐるみの防犯体制づくり推進事業	鹿沼市日光市	上都賀地域農作物等盗難防止対策推進協議会	防犯対策活動に要する経費 (防犯ステッカー作成)	385,000	169,000

国庫／ 県単	事業名	細事業名	市町名	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)
県単	水田農業構造改革 推進事業費	土地利用型園芸フル加速化事業 費(土地利用型園芸産地展開加速 化事業費)	鹿沼市 栃木市	鹿沼里芋研究会	優良種子購入：400kg	158,400	72,000
県単	水田農業構造改革 推進事業費	土地利用型園芸フル加速化事業 費(土地利用型園芸産地展開加速 化事業費)	鹿沼市 栃木市	鹿沼里芋研究会	掘上機：2台 フロントローダー：1 台 里芋選別機：2台 分離機：1台	3,907,200	1,182,000
県単	水田農業構造改革 推進事業費	土地利用型園芸フル加速化事業 費(土地利用型園芸産地展開加速 化事業費)	鹿沼市	鹿沼地区加工用 馬鈴薯出荷組合	種芋、肥料の購入費	2,309,000	1,049,000
県単	水田農業構造改革 推進事業	作付転換促進事業費 (作付転換拡大緊急対策支援事 業費)	直接	鹿沼市農業再生 協議会	主食用米から飼料用米 等への作付拡大に対す る助成	504,122	504,122
県単	水田農業構造改革 推進事業	作付転換促進事業費 (作付転換拡大緊急対策支援事 業費)	直接	日光市農業再生 協議会	主食用米から飼料用米 等への作付拡大に対す る助成	753,110	753,110
県単	栃木の米づくりプロ ジェクト推進事業	栃木のお米収益力向上支援事業 費(栃木のお米品質向上対策事 業費)	鹿沼市	JAかみつがとち ぎの星研究会	「とちぎの星」品質向 上の実証に要する経費	108,460	49,300
県単	農業団体等需給調整 推進事業	-	鹿沼市	鹿沼市 農業再生協議会	主食用米の作付け参考 値の提示に係る事務等	200,000	100,000
県単	農業団体等需給調整 推進事業	-	日光市	日光市 農業再生協議会	主食用米の作付け参考 値の提示に係る事務等	200,000	100,000
県単	園芸大国とちぎづく りフル加速推進事業	施設園芸拡大プロジェクト整備 事業(施設園芸拡大プロジェクト整 備事業費)	鹿沼市	鹿沼にら規模拡 大協議会	新規にらウォーター カーテンハウス：25棟 (64.4a) 新規にらパイプハウ ス：9棟(20a) にらウォーターカー テン機能強化：18棟 (38.2a)	24,034,642	9,613,000
県単	園芸大国とちぎづく りフル加速推進事業	施設園芸拡大プロジェクト整備 事業(施設園芸拡大プロジェクト整 備事業費)	鹿沼市	鹿沼にら組合	新規パイプハウス：33棟 (79.4a) 新規ウォーターカー テンハウス：23棟(74.9a)	35,894,353	12,000,000
県単	園芸大国とちぎづく りフル加速推進事業	施設園芸拡大プロジェクト整備 事業(施設園芸“就農環境日本一” 生産モデル確立事業費)	鹿沼市	鹿沼にら規模拡 大協議会	K-18型にらウォーター カーテンハウス式 畝立て機	3,563,811	1,425,000
県単	燃油価格高騰対応省 エネ支援事業	-	日光市	シクラメン・マ スターズ日光	燃油削減のための機器 の導入、作型転換に必 要な機器の導入	1,595,000	725,000
県単	燃油価格高騰対応省 エネ支援事業	-	鹿沼市	かみつがEHP利 用栽培組合	燃油削減のための機器 の導入、作型転換に必 要な機器の導入	23,060,000	10,593,000
県単	持続的畜産経営推進 事業	耕畜連携推進総合対策事業費 (飼料生産担い手確保推進事業)	鹿沼市	農業生産法人 ワタナベ	飼料生産・販売に新た に取り組む組織の飼料 生産に要する経費	457,650	208,000
県単	持続的畜産経営推進 事業	耕畜連携推進総合対策事業 (飼料生産担い手確保推進事業)	鹿沼市	(株)コバヤシ ファーム	飼料生産・販売に新た に取り組む組織の飼料 生産に要する経費	1,480,450	863,000
県単	持続的畜産経営推進 事業	耕畜連携推進総合対策事業 (耕畜連携推進機械導入支援事 業費)	鹿沼市	農業生産法人 ワタナベ	飼料生産・販売に新た に取り組む組織の飼料 生産に要する経費	19,619,930	4,000,000
県単	持続的畜産経営推進 事業	耕畜連携推進総合対策事業 (耕畜連携推進機械導入支援事 業費)	日光市	大室WCS	飼料生産・販売に新た に取り組む組織の飼料 生産に要する経費	2,060,000	686,000

(2) 基盤整備事業

① 県営土地改良事業

(単位：千円、%)

事業名	地区名	関係市町	着工	完了(予)	全 体		令和4年度まで		令和5年度		令和6年度以降		負担割合				
					事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	国	県	市町	地元	
経営体育成基盤	田川流域	日光市	H24	R4	36.2ha	853,036	35.0ha	849,791	換地業務	3,245			100.0	50.0	30.0	10.0	10.0
	山口	日光市 宇都宮市	H28	R5	39.0ha	749,762	38.5ha	736,926	換地業務	3,861			98.8	50.0	30.0	10.0	10.0
	笹原田	鹿沼市	H30	R6	32.8ha	923,200	31.5ha	773,836	暗渠排水 9.1ha	64,000		暗渠排水 7.8ha	90.8	50.0	30.0	7.5	12.5
	引田	鹿沼市	H30	R6	33.6ha	634,000	32.2ha	609,000	付帯工事 換地業務	15,060		換地業務	98.4	50.0	30.0	7.5	12.5
	薄井沢	日光市	R2	R8	66.0ha	2,033,000	測量設計等	85,499	整地工 30.4ha	748,816	120,000	整地工 35.6ha	41.0	50.0	30.0	10.0	10.0
	千渡	鹿沼市	R4	R11	58.7ha	1,628,000	測量設計等	39,000	測量設計等	67,940	2,727	整地工 58.7ha	6.6	50.0	30.0	7.5	12.5
	沢又	日光市	H30	R7	51.3ha	34,044	計画設計	31,044		0	0	計画樹立	91.2	50.0	25.0	25.0	-
	玉田 轟	鹿沼市 日光市	R3 R5	R7 R7	59.0ha 60.0ha	45,920 52,024	基礎調査 基礎調査	8,722 0	計画設計 計画設計	3,198 8,024	0	計画設計	26.0	50.0	25.0	25.0	-
西茂呂	鹿沼市	R3	R8	18.0ha	36,711	基礎調査	4,511		0	0	計画設計	15.4	50.0	25.0	25.0	-	

※R6年度時点総量

※R5年度への繰越除く ※R4年度から繰越+R5年度

② 団体営土地改良事業

(単位：千円、%)

事業名	地区名	事業主体	着工	完了(予)	全 体		令和4年度まで		令和5年度		令和6年度以降		負担割合				
					事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	国	県	市町	地元	
地籍調査	鹿沼	鹿沼市	H28		468.20ka		14.49ka		0.13ka	20,200			3.1	50.0	25.0	25.0	-
	日光	日光市	S48		609.06ka		50.10ka		0.08ka	5,335			8.2	50.0	25.0	25.0	-
農地耕作条件改善 事業	水無森友	日光市	R2	R4	用水路 899.6m	65,000	用水路 899.6m	65,000					100.0	50.0	15.0	20.0	15.0
	田川流域	日光市	R4	R6	農道 652.5m	44,500	農道 281.5m	15,000			農道 371m	29,500	33.7	50.0	15.0	20.0	15.0
地域農業水利施設 ストックマネジメ ント事業	鹿沼(2)	鹿沼市	R5	R5	機能診断 3.0箇所	10,472			機能診断 3.0箇所	10,472		100.0	100.0	-	-	-	-
	鹿沼(3)	鹿沼市	R5	R5	機能診断 6.0箇所	15,862			機能診断 6.0箇所	15,862		100.0	100.0	-	-	-	-

③ その他事業等（令和5年度）

（単位：円、％）

事業名	地区名	市町名	事業主体	事業量	事業費	負担割合			
						国	県	市町	地元
県単独農業農村整備事業	下 沢	鹿沼市	鹿沼市	農道整備 L= 390m	15,400,000	-	30.0	70.0	-
	酒野谷	鹿沼市	鹿沼市	農道整備 L= 430m	16,500,000	-	30.0	70.0	-
	町 谷	日光市	日光市	水路整備 L= 22.3m	11,836,000	-	45.0	55.0	-
	大 室	日光市	日光市	農道整備 L= 195.6m	6,402,000	-	40.0	60.0	-
	明 神	日光市	日光市	農道整備 L= 237m	8,074,000	-	40.0	60.0	-
	山 口	日光市	日光市土地改良区	高度土地利用調整調査・調整事業	100,000	50.0	25.0	25.0	-
	笹原田	鹿沼市	笹原田土地改良区	高度土地利用調整調査・調整事業	200,000	50.0	25.0	25.0	-
農地集積促進事業 （旧農業経営高度化支援事業）	引 田	鹿沼市	引田土地改良区	高度土地利用調整調査・調整事業	200,000	50.0	25.0	25.0	-
	薄井沢	日光市	日光市土地改良区	高度土地利用調整調査・調整事業	200,000	50.0	25.0	25.0	-
	千 渡	鹿沼市	千渡土地改良区	高度土地利用調整調査・調整事業	200,000	50.0	25.0	25.0	-
県単換地等調整事業	轟	日光市	日光市	換地等調整 A=64.0ha	2,300,000	-	50.0	50.0	-

(3) 多面的機能支払交付金実施状況(令和5年度)

(単位:円)

活動組織名	関係市町	開始	終了	対象面積(a)			農地維持 支払交付額 (円)	資源向上支払 (共同活動) 交付額(円)	資源向上支払 (長寿命化) 交付額(円)	合計
				田	畑	合計				
1 下沢引田 農村環境保全の会	鹿沼市	R1	5	11,685	1,760	13,445	3,857,500	2,293,380	0	6,150,880
2 中入粟野美郷の会	〃	R1	5	3,252	1,219	4,471	1,219,400	717,012	0	1,936,412
3 中粕尾水と緑の会	〃	R1	5	1,559	91	1,650	485,900	290,448	493,817	1,270,165
4 板荷畑いづくし美会	〃	R1	5	2,391	619	3,010	841,100	497,232	0	1,338,332
5 磯町の自然を守る会	〃	R1	5	5,686	554	6,240	1,816,600	1,083,312	0	2,899,912
6 野沢町グリーン クラブ	〃	R1	5	3,451	579	4,030	1,151,100	683,712	0	1,834,812
7 武子自然を守る会	〃	R1	5	6,554	918	7,472	2,149,800	1,278,864	0	3,428,664
8 見野・富岡・下遠部 環境整備協議会	〃	R1	5	16,862	1,676	18,538	5,329,000	3,177,288	0	8,506,288
9 中山沢自然保存会	〃	R1	5	787	238	1,025	283,700	167,364	0	451,064
10 深津環境保全部会	〃	R1	5	5,751	31	5,782	1,731,500	0	0	1,731,500
11 野尻の大地を守る会	〃	R1	5	3,690	85	3,775	1,124,000	0	341,400	1,465,400
12 下久我の自然を 守る会	〃	R1	5	2,078	29	2,107	629,200	0	0	629,200
13 酒野谷自然環境を 守る会	〃	R1	5	11,289	0	11,289	3,386,700	0	0	3,386,700
14 久野の農地を守る会	〃	R1	5	8,277	1,009	9,286	2,684,900	0	0	2,684,900
15 笹原田環境保全の会	〃	R1	5	2,938	627	3,565	1,006,800	596,556	0	1,603,356
16 西茂呂清流の会	〃	R1	5	1,880	702	2,582	704,400	0	0	704,400
17 楡木小藪川用水組合	〃	R1	5	8,636	34	8,670	2,597,600	0	0	2,597,600
18 中島用水組合	〃	R1	5	11,495	458	11,953	3,540,100	0	0	3,540,100
19 当山用水組合	〃	R1	5	4,751	345	5,096	1,494,300	0	0	1,494,300
20 南端用水組合	〃	R1	5	9,295	201	9,496	2,828,700	0	0	2,828,700
21 永野保全の会	〃	R1	5	5,316	6,936	12,252	2,959,600	0	0	2,959,600
22 日向地域保全の会	〃	R1	5	13,892	334	14,226	4,234,400	0	0	4,234,400
23 生子の郷 環境保全の会	〃	R1	5	1,934	42	1,976	588,600	352,656	361,123	1,302,379
24 北半田地区の 自然を守る会	〃	R2	6	12,669	4	12,673	3,801,500	0	0	3,801,500
25 栢窪の自然環境を 守る会	〃	R3	7	4,088	195	4,283	1,265,400	0	0	1,265,400
26 玉田環境保全の会	〃	H30	4	4,316	121	4,437	1,319,000	0	0	1,319,000
27 7区環境保全の会	〃	H30	4	2,050	1,855	3,905	986,000	0	0	986,000
28 3区環境保全の会	〃	R3	7	1,703	813	2,516	673,500	0	639,460	1,312,960
29 千渡地区 環境保全の会	〃	R4	8	7,031	267	7,298	2,162,700	0	0	2,162,700
30 西沢環境を守る会	〃	R5	9	2,380	633	3,013	840,600	0	0	840,600
31 下加園環境保全の会	〃	R5	9	4,927	2,294	7,221	1,936,900	1,134,612	0	3,071,512
32 口栗野環境保全会	〃	R5	9	4,849	1,020	5,869	1,658,700	0	939,227	2,597,927
33 粕尾・柏木地区環境 保全の会	〃	R5	9	10,546	105	10,651	3,184,800	1,909,620	0	5,094,420
34 塩山町ふるさと保全 の会	〃	R5	9	2,853	27	2,880	861,300	0	840,827	1,702,127
鹿沼市 計34組織				200,861	25,821	226,682	65,335,300	14,182,056	3,615,854	83,133,210

活動組織名	関係市町	開始	終了	対象面積(a)			農地維持 支払交付額 (円)	資源向上支払 (共同活動) 交付額 (円)	資源向上支払 (長寿命化) 交付額 (円)	合 計
				田	畑	合計				
1 小林1・2区 地域資源保全会	日光市	R1	5	16,220	605	16,825	4,987,000	2,984,940	0	7,971,940
2 いずみネットワーク	〃	R1	5	3,973	268	4,241	1,245,500	744,084	872,265	2,861,849
3 沢又地域 ふるさと資源保全隊	〃	R1	5	5,613	75	5,688	1,698,900	1,018,440	0	2,717,340
4 塩野室地域水土里 保全隊	〃	R1	5	16,905	399	17,304	5,151,300	3,085,992	0	8,237,292
5 上板橋の環境を 守る会	〃	R1	5	5,057	153	5,210	1,547,700	926,784	0	2,474,484
6 小林3・4区 ユートピア	〃	R1	5	14,481	403	14,884	4,424,900	2,650,104	0	7,075,004
7 岩崎自然環境保全会	〃	R1	5	11,899	969	12,868	3,763,500	2,246,472	0	6,009,972
8 水無・森友地区 環境保全協議会	〃	R1	5	4,761	375	5,136	1,503,300	897,480	0	2,400,780
9 矢野口環境保全会	〃	R1	5	5,394	98	5,492	1,637,800	981,504	0	2,619,304
10 小倉農地水保全会	〃	R1	5	5,883	1,100	6,983	1,984,900	1,177,740	0	3,162,640
11 小代農地・水環境 保全会	〃	R1	5	5,887	340	6,227	1,834,100	1,096,380	0	2,930,480
12 長畑下組の環境を 守る会	〃	R1	5	1,219	455	1,674	456,700	268,560	0	725,260
13 下板橋の水と緑を 守る会	〃	R1	5	5,009	1,351	6,360	1,772,900	1,047,528	1,094,062	3,914,490
14 下川室環境保全会	〃	R1	5	3,651	334	3,985	1,162,100	693,252	0	1,855,352
15 針貝地区農村環境 保全会	〃	R1	5	6,727	758	7,485	2,169,700	1,292,724	869,167	4,331,591
16 大室農地水管理 委員会	〃	R1	5	9,298	879	10,177	2,965,200	1,768,572	0	4,733,772
17 薄井沢環境保全会	〃	R1	5	6,169	163	6,332	1,883,300	1,128,024	0	3,011,324
18 根室地域環境を 守る会	〃	R1	5	2,750	134	2,884	851,800	509,472	0	1,361,272
19 下猪倉くらかけ会	〃	R1	5	11,023	931	11,954	3,493,100	2,084,688	0	5,577,788
20 上猪倉保全組合	〃	R1	5	6,870	963	7,833	2,253,600	1,340,604	0	3,594,204
21 木和田島みどりの会	〃	R1	5	10,321	1,353	11,674	3,366,900	2,003,904	0	5,370,804
22 中小来川環境保存会	〃	R1	5	608	564	1,172	295,200	170,352	0	465,552
23 荊沢農村環境保全会	〃	R1	5	3,177	541	3,718	1,061,300	630,288	0	1,691,588
24 手岡農村環境保全会	〃	R1	5	6,145	844	6,989	2,012,300	1,197,252	0	3,209,552
25 倉ヶ崎農地環境 保全会	〃	R1	5	4,154	171	4,325	1,280,400	766,188	0	2,046,588
26 山口農用地維持組合	〃	R1	5	5,714	261	5,975	1,766,400	0	0	1,766,400
27 轟みどり保全会	〃	R1	5	5,064	234	5,298	1,566,000	0	0	1,566,000
28 大桑地区農地・ 水環境保全会	〃	R1	5	4,513	697	5,210	1,493,300	0	0	1,493,300
29 芹沼多面的機能活動 組織	〃	R1	5	7,816	1,034	8,850	2,551,600	1,518,552	0	4,070,152
30 町谷水土里会	〃	R1	5	4,184	262	4,446	1,307,600	0	0	1,307,600
31 吉沢グリーン	〃	R2	6	4,152	202	4,354	1,286,000	0	0	1,286,000
32 大渡農地環境保全会	〃	R2	6	5,934	293	6,227	1,838,800	0	0	1,838,800
33 田川流域保全会	〃	R2	6	6,145	421	6,566	1,927,700	1,151,568	0	3,079,268
34 長畑鶏鳴保全会	〃	H30	4	1,110	2,026	3,136	738,200	418,608	0	1,156,808
35 豊田活動組織	〃	H30	4	2,261	95	2,356	681,300	0	0	681,300
36 二宮堀管理組合	〃	R1	5	6,449	612	7,061	2,057,100	0	1,185,859	3,242,959
37 猪倉水田多面的機能 維持管理会	〃	R1	5	2,675	279	2,954	858,300	0	0	858,300
日光市 計37組織				229,211	20,642	249,853	72,875,700	35,800,056	4,021,353	112,697,109
令和5年度実施地区 計71組織				430,072	46,463	476,535	138,211,000	49,982,112	7,637,207	195,830,319

(4) 中山間地域等直接支払制度実施状況 (令和5年度)

(単位:円)

国庫 単別	事 業 名	市 名	協定種別	集 落 名 (個別協定は 認定農業者名)	交付対象 面積 (㎡)	交付金額	内 訳			
							国 費	県 費	市 費	
国 庫	中山間地域等直接支払交付金	鹿沼市	個 別	前日光牧場 管理組合	431,781	2,862,498	1,431,248	715,624	715,626	
			鹿沼市小計		431,781	2,862,498	1,431,248	715,624	715,626	
		日光市	集 落	小 百		354,113	3,302,399	1,100,799	1,100,799	1,100,801
				小 百 褥		97,680	1,604,613	534,870	534,870	534,873
				高 百		120,539	1,920,226	640,074	640,074	640,078
				小百石見		109,700	2,229,990	743,330	743,330	743,330
				長畑東沢		150,227	2,076,300	692,100	692,100	692,100
				長畑西沢		113,715	1,576,880	525,626	525,626	525,628
				長畑鶏鳴		267,537	2,666,400	888,799	888,799	888,802
				宮小来川		30,058	192,371	96,185	48,092	48,094
				南小来川		32,045	423,423	211,711	105,855	105,857
				日光市集落協定計		1,275,614	15,992,602	5,433,494	5,279,545	5,279,563
				日光市	個 別	栗山和牛改良組合 (土呂部)		98,927	733,506	366,752
		栗山和牛改良組合 (三沢原)				45,534	136,602	68,301	34,150	34,151
		日光市個別協定計				144,461	870,108	435,053	217,525	217,530
		日光市小計		1,420,075	16,862,710	5,868,547	5,497,070	5,497,093		
		計		1,851,856	19,725,208	7,299,795	6,212,694	6,212,719		

16 上都賀地域土地改良区統合整備状況（令和6（2024）年3月現在）

（1）統合整備推進地区

（単位：ha）

地区名	土地改良区名	地区委員会	地区面積	専任職員の有無	地区の状況	統合整備の取組方針
鹿沼地区 (行政単位)	鹿沼市土地改良区		1,611	有	令和3年4月1日に土地改良区の合併が認可され鹿沼市土地改良区となった。	統合整備は完了している。
		南摩地区委員会	263			
		北半田地区委員会	141			
		口栗野地区委員会	59			
		塩山地区委員会	29			
		酒野谷地区委員会	114			
		清洲地区委員会	182			
		日向地区委員会	160			
		見野地区委員会	131			
		武子地区委員会	91			
		永野地区委員会	90			
		下沢引田地区委員会	104			
		思川地区委員会	110			
		栃窪地区委員会	42			
		西沢地区委員会	30			
			深津地区委員会			
	南押原土地改良区		476	有	職員と役員で事務処理を分担して行っている。	単独土地改良区にて運営している。
	黒川東土地改良区		201	無	役員が事務処理を分担して行っている。	単独土地改良区にて運営している。
	引田土地改良区		42	無	平成30年6月11日に設立認可。 事務処理等について鹿沼市土地改良事業推進協議会に業務を委託している。	圃場整備事業完了後、鹿沼市土地改良区に吸収合併予定。
	笹原田土地改良区		38	無		
	千渡土地改良区		84	有	令和4年8月10日に設立認可。	圃場整備事業完了後、鹿沼市土地改良区に吸収合併予定。
日光地区 (行政単位)	日光市土地改良区		2,579	有	平成21年4月1日、9日に、土地改良区の合併が認可され日光市土地改良区となった。 平成25年4月1日に、日光市土地改良区に堰場川土地改良区を吸収合併した。	統合整備は完了している。
		田川流域地区委員会	214			
		板橋地区委員会	36			
		芝河原地区委員会	52			
		塩野室地区委員会	190			
		小林用水地区委員会	327			
		大谷川流域地区委員会	1,416			
		行川流域地区委員会	164			
		岩崎地区委員会	124			
		猪倉地区委員会	33			
		堰場川地区委員会	23			

※ 令和6年3月時点

17 関係機関・団体一覧

令和6年4月1日現在

		郵便番号	住 所	電話番号
市町	鹿 沼 市	322-8601	鹿沼市今宮町1688-1	0289-63-2191
	日 光 市	321-1292	日光市今市本町1	0288-21-5171
農業委員会	鹿沼市農業委員会	322-8601	鹿沼市今宮町1688-1	0289-63-2184
	日光市農業委員会	321-1292	日光市今市本町1	0288-21-5173
関係団体等	上都賀農業協同組合本店	322-0044	鹿沼市鳥居跡町983-1	0289-65-1000
	南部営農経済センター	322-0528	鹿沼市奈佐原町584-1	0289-71-1125(米麦畜産) 0289-75-3821(園芸特産)
	日光営農経済センター	321-2335	日光市森友923-3	0288-22-1125(米麦畜産) 0288-22-1178(園芸特産)
	栃木県農業共済組合上都賀支所	322-0005	鹿沼市御成橋町2-2051-7	0289-65-3251
	上都賀厚生農業協同組合連合会	322-8550	鹿沼市下田町1-1033	0289-64-2161
	栃木県開拓農業協同組合	325-0057	那須塩原市黒磯幸町3-9	0287-62-0274
	栃木県酪農業協同組合	321-0985	宇都宮市東町76	028-662-7311
	酪農とちぎ農業協同組合宇都宮支所	329-1213	高根沢町下柏崎541	028-676-1504
	鹿沼市公設地方卸売市場	322-0026	鹿沼市茂呂1889	0289-65-3615
	茨城県たばこ耕作組合栃木支所	321-4216	益子町塙1891-3	0285-72-9400
中禅寺湖漁業協同組合	321-1661	日光市中宮祠2482(菖蒲ヶ浜)	0288-55-0271	
公社	公益財団法人栃木県農業振興公社	320-0047	宇都宮市一の沢2-2-13	028-648-9511
	公益財団法人鹿沼市農業公社	322-0527	鹿沼市塩山町1329-19	0289-63-5570
	一般財団法人日光市農業公社	321-1292	日光市今市本町1	0288-22-7770
土地改良	鹿沼市土地改良事業協議会	322-0026	鹿沼市茂呂1889	0289-78-4441
	栃木県土地改良事業団体連合会	321-0901	宇都宮市平出町1260	028-660-5701
	栃木県農地水多面的機能保全推進協議会	321-0901	宇都宮市平出町1260	028-660-5702
国・県	関東農政局栃木県拠点	320-0806	宇都宮市中央2-1-16	028-633-3311
	鹿沼南高等学校	322-0524	鹿沼市みなみ町8-73	0289-75-2231
	東京事務所	102-0093	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階	03-5212-9064
	(一社)とちぎ農産物マーケティング協会	321-0905	宇都宮市平出工業団地9-25 栃木県JAビル5階	028-616-8787
	栃木県農業試験場	320-0002	宇都宮市瓦谷町1080	028-665-1241
	栃木県農業大学校	321-3233	宇都宮市上籠谷町1145-1	028-667-0711
	栃木県農業環境指導センター	321-0974	宇都宮市竹林町1030-2	028-626-3086
	栃木県水産試験場	324-0404	大田原市佐良土2599	0287-98-2888
	栃木県県央家畜保健衛生所	321-0905	宇都宮市平出工業団地6-8	028-689-1200
	栃木県畜産酪農研究センター	329-2747	那須塩原市千本松298	0287-36-0230

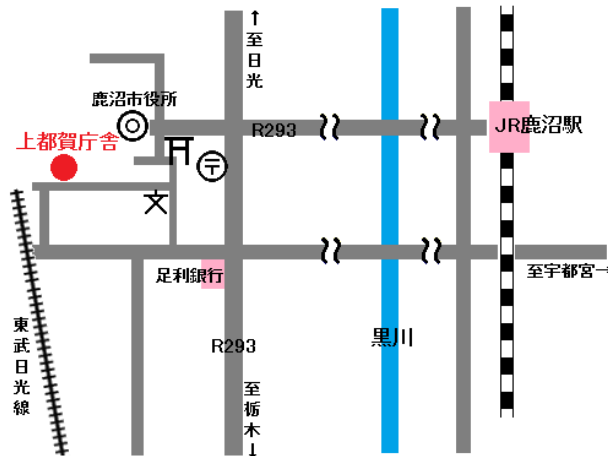
上都賀農業振興事務所のご案内



所在地

〒322-0068

栃木県鹿沼市今宮町1664-1 (上都賀庁舎4階)



連絡先

代	表	TEL 0289-62-5236	FAX 0289-65-7018
管理部・企画振興部		TEL 0289-62-5236	FAX 0289-65-7018
経営普及部		TEL 0289-62-6125	FAX 0289-65-7018
農村整備部		TEL 0289-62-6146	FAX 0289-65-7018

組織体制

管理部	管理課	総務、経理、農地法、農業振興地域制度、農業制度資金に関する事務など
企画振興部	企画振興課	農業振興に係わる企画調整、補助事業の推進、水田農業の構造改革、人・農地プランの推進、農地の集積・集約化の推進、農業災害調査・対策など
	振興チーム	都市農村交流の促進、中山間地域の活性化対策、食と農の理解促進、農産物のマーケティング対策など
経営普及部	いちご園芸課	いちご、花卉、果樹の生産振興、農業技術の普及指導など
	野菜課	トマト、なすなど野菜の生産振興、農業技術の普及指導など
	農畜産課	米、麦、大豆、畜産の生産振興、農業技術の普及指導など
	経営指導課	認定農業者・農村女性・新規就農者等担い手の育成、農業経営体の経営改善・法人化の推進、環境保全型農業の推進、鳥獣害対策の推進など
農村整備部	調査保全課	農業農村の基盤整備に関する調査・計画策定、農地の災害復旧支援など
	整備課	農業農村整備工事の設計・指導監督や検査など
	管理指導課	土地改良法の手続き及び換地、物件補償に関すること、土地改良区等の指導監督など

VERY GOOD LOCAL

とちぎ

上都賀地方の農業・農村
令和6（2024）年5月発行



振興事務所
ホームページ



農政部X
(旧Twitter)



農政部Youtube
チャンネル